Yamato

デジタル式上皿自動はかり

UDS - 1VⅡ/1VN - WP

取 扱 説 明 書

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

は　じ　め　に

この度は、デジタル式上皿自動はかり“UDS－1VⅡ/1VN－WP”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このはかりは、従来にないIP68の防水・防塵設計を採用し、特に「衛生面」「使いやすさ」を重点におき設計された画期的なデジタル式上皿自動はかりです。

本機は、工場・一般店頭でのご使用はもちろんのこと、鮮魚・青果関係・農家等の幅広い分野でお使いいただけます。また、計量だけでなく、作業者の用途にあわせた設定ができる「マルチファンクション機能」を搭載しております。

この“UDS－1VⅡ/1VN－WP”をいつまでも最適な状態でお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

ページ

1章　ご使用前にお読みください
1-1　安全に正しくお使いいただくために …… 1
1-2　使用上の注意とお願い …… 3
1-3　保管･破棄について …… 3
1-4　始業時点検のお願い …… 4
1-5　このような機能があります …… 4
1-6　製品の構成 …… 5
1-7　各部の名称 …… 5
1-8　はかりの性能を維持させるために …… 6

2章　ご使用前の準備
2-1　乾電池のセット及び交換方法 …… 7
2-2　内圧調整用ゴム部の清掃方法 …… 9
2-3　設置場所について …… 10
2-4　表示部及びキー操作部について …… 10

3章　基本操作について
3-1　計量のしかた …… 11
3-2　電源オフのしかた …… 11
3-3　零点リセットのしかた …… 11
3-4　風袋引のしかた …… 12
3-5　風袋引の取り消し …… 12

4章　ユーザパラメータについて
4-1　ユーザパラメータについて …… 13
4-2　ユーザパラメータ表 …… 13
4-3　各ユーザパラメータの説明
4-3-1　番号#01 マルチファンクションタイプ選択 …… 14
4-3-2　番号#02 ランク設定可能数 …… 14
4-3-3　番号#03 ブザー鳴音選択 …… 14
4-3-4　番号#04 安定時ランク判別表示 …… 14
4-3-5　番号#05 オートオフ時間 …… 14
4-3-6　番号#06 定量計量機能時自動風袋引き …… 15
4-3-7　番号#07 判定時表示点滅選択 …… 15
4-3-8　番号#C4 簡易設定時 許容値の単位選択 …… 15
4-3-9　番号#C5 簡易設定時 許容値の設定幅 …… 15

5章　ユーザパラメータの変更方法
5-1　Ⅰ.オートオフ時間の設定を変更する …… 15
5-2　Ⅱ.ブザー鳴音選択設定値の変更 …… 17
5-3　Ⅲ.判定時表示点滅選択設定値の変更 …… 18

6章　マルチファンクション機能について
6-1　マルチファンクション機能とは …… 19

ページ

6-1-1　Ⅰ.定量計量機能 …… 19
6-1-2　Ⅱ.チェッカ機能 …… 19
6-1-3　Ⅲ.ランク選別機能 …… 20

7章　マルチファンクションタイプの変更方法 …… 21

8章　品種データを登録する
8-1　Ⅰ.定量計量機能 …… 22
8-2　Ⅱ.チェッカ機能 …… 24
8-3　Ⅲ.ランク選別機能 …… 26

9章　品種データを呼び出し、作業をおこなう
9-1　Ⅰ.定量計量機能
9-1-1　登録データの呼び出し …… 29
9-1-2　計量をおこなう …… 30
9-1-3　質量表示に戻す …… 31
9-2　Ⅱ.チェッカ機能
9-2-1　登録データの呼び出し …… 32
9-2-2　計量をおこなう …… 33
9-2-3　質量表示に戻す …… 33
9-3　Ⅲ.ランク選別機能
9-3-1　登録データの呼び出し …… 34
9-3-2　計量をおこなう …… 35
9-3-3　質量表示に戻す …… 36

10章　簡易設定機能
10-1　定量計量機能時の目標値の設定方法 …… 37
10-2　チェッカ機能時の下限値の設定方法 …… 40

11章　エラー表示について …… 42

12章　UDS-1VⅡ-WP（検定品）の使用地域別重力加速度について …… 46

13章　UDS-1VN-WP（取引証明以外用）
13-1　ユーザパラメータについて …… 47
13-2　ユーザパラメータ表 …… 47
13-3　ユーザパラメータの説明 …… 47
13-3-1　番号#09 地区補正／重力加速度 …… 47
13-4　使用地域別の重力加速度補正について …… 47
13-5　校正方法について …… 50

14章　オプション
14-1　オプションの種類 …… 52
14-2　ACアダプタ挿入部 …… 53
14-3　ACアダプタ（オプション）をセットする …… 53
14-4　ユーザパラメータについて …… 54

目　　次

ページ
14-5　ユーザパラメータ表 …… 54
14-6　ユーザパラメータの説明 …… 55
14-6-1　番号#8 取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能 …… 55
14-6-2　番号#11 通信のタイミング …… 56
14-6-3　番号#19 マルチファンクション時風袋データ付加　57
14-6-4　番号#20 マルチファンクション判別精度の向上　57
14-6-5　番号#21 マトリクス組合せ数 …… 58
14-6-6　番号#23 データ送信時Send表示 …… 58
14-6-7　番号#27 マルチファンクション設定値付加の選択　58
14-6-8　番号#28 プリンタ印字紙送り量の設定 …… 58
14-6-9　番号#29 文字選択 …… 58
15章　ソフトオプションユーザパラメータの変更方法
（工場出荷ソフトオプション機能）
15-1　Ⅰ.取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能　59
15-2　Ⅱ.マルチファンクション判別精度を変更する …… 60
16章　仕様書 …… 61
17章　外観寸法図 …… 62
18章　保証書

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この「安全に正しくお使いいただくために」は、安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を防止するためのものです。

また、本取扱説明書は大切に保管してください。

●表示と意味については次のように定義しています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⃠ **禁止**	してはいけないことを表しています。
❗ **強制**	しなければならないことを表しています。

●この製品のご使用前に以下の各“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

⚠ 危険

⃠ ：感電事故を避けるために

ＡＣアダプタのコードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。
ＡＣアダプタの抜き差しは、ＡＣアダプタ本体の樹脂部を持って確実におこなってください。

⃠ ：爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。
可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。

❗ ：火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、へんな臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 警告

：不安定な場所で使用しない。

傾いたりしていると転倒して思わぬ事故になる恐れがあります。台の上に置いて使用する場合は特に安全を確認して使用してください。

：載皿を持って持ち上げない。

載皿が外れてはかりが人の足の上等に落下し、負傷する恐れがあります。

：はかりの隙間、穴等に指を入れない。

ケガ、故障の原因になります。

：破損した表示内部から出た液体を口に入れない。

毒性がありますから、あやまって口に入れないように特にご注意ください。

⚠ 注意

：アルカリ乾電池とマンガン乾電池をまぜて使用しない。

液漏れ、破裂する可能性があります。

：指定以外の電池を使用しない。

電池の破裂・液もれにより火災、ケガ、汚損の原因になります。

：電池を火や水の中に入れたり加熱したりしない。

破裂する可能性があります。

：電池の極性は指示通りに装着してください。

液漏れ、破裂する可能性があります。

：電池をなめたり口に入れない。

電池を小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

：電池が切れたまま放置しない。

電池が液もれして内部が腐食する場合があります。

：本器を落とさない。

故障の原因になります。

：本器の分解・改造をしない。

封印ネジをはずしたり、分解･改造をしないでください。取引証明用として使用できなくなるばかりでなく、以後のサービスを受けられなくなる場合があります。

使 用 上 の 注 意 と お 願 い

●故障の原因
(1) 表示部、キー部を爪、先の尖った物で押さないでください。
(2) はかりの持ち運びや移動の際は、必ずはかり底面の取手を両手で持って持ち上げてください。
(3) 過度の衝撃や振動を与えないでください。
(4) はかりの上に物を落としたり、飛び乗ったり、はかりを落下させたりしないでください。
(5) シンナー・ベンジン等では拭かないでください。
(6) 一切の分解、改造はしないでください。内部部品で手等を負傷する危険があります。
(7) 乾電池交換時及び、内圧調整用ゴム部の清掃時以外、はかりを上下逆に（載皿を下に）しないでください。
(8) はかり本体の樹脂部に油分（植物油・動物油・機械油）が付着しないようにしてください。付着した場合は乾いた布で拭き取ってください。

●計量不良の原因
(1) 火気・蒸気の近く、直射日光や冷暖房機の風が当たる場所で使用しないでください。
(2) 過度の衝撃や振動及び強い電磁波が発生する機器類（電子レンジ・携帯電話機等）の近くには設置しないでください。
(3) 荷重に充分耐えられる水平で安定した場所で使用してください。
(4) 指定の使用環境のもとでご使用ください。（使用環境－10℃～＋40℃，30%RH～80%RH）
尚、指定の環境範囲内であっても、下記のように結露が発生する状況下では計量不良が起こる場合があります。
1）高湿度の環境下で長時間使用又は保存されたとき。
2）湿度が低くても急激な温度変化を与えたとき。（冷水などをはかりにかける。）
3）はかりに冷蔵庫等の冷気、又は湯気、水蒸気などがかかる雰囲気で使用したとき。
(5) はかり内部との内圧調整を行うため多孔質フィルターを使用しております。このフィルターが目詰まりする環境下で使用されますと、内圧調整ができず誤計量が生じることがあります。

●乾電池について
(1) アルカリ乾電池とマンガン乾電池をまぜて使用しないでください。まぜて使うと、液もれや破裂の原因になります。
(2) 電池切れサインが表示されたら速やかに乾電池を取り替えてください。
電池交換は、4本全て新しい電池に交換してください。古い乾電池が混じると液もれしたり、極端に電池の寿命が短くなります。
(3) 乾電池の交換の際は、極性（＋、－）を表示の通りに装着してください。間違った場合は故障の原因になります。
(4) 長期間（約１ヶ月以上）使用しない場合は、乾電池をはかりから取り外してください。乾電池が液もれし、はかり内部が腐食する場合があります。
(5) ＡＣアダプタ使用時は、必ず乾電池をはかりから取り外してください。乾電池との併用は絶対しないでください。

保管・廃棄について

●保管場所について
(1) 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管はさけてください。
また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
(2) 本器は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管はさけてください。

●廃棄について
(1) 本はかりを廃棄する場合
本はかりは、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。
(2) 使用済み乾電池を廃棄する場合
使用済み乾電池は電極にセロファンテープを貼り（ショートすると危険なため）、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

始業時点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められており、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

このような機能があります

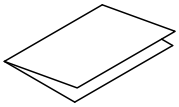
ＵＤＳ－１ＶⅡ/１ＶＮ－ＷＰには、下記のような機能があります。作業の目的に応じてお役立てください。

目　　的	方　　法	ページ
オートオフ はかりの電源を自動的にオフさせたい（乾電池使用時のみ）	出荷時は15分に設定しています。 ユーザパラメータの設定により変更できます。 『ユーザパラメータの設定のしかた』を参照してください。	15
風袋引 計量物または、計量物を入れる容器の質量を０表示させたい	風袋 キーを使って、ワンタッチで風袋引をすることができます。	12
定量計量機能 パック詰め作業の際に、歩留り率を向上させたい ※この機能は取引証明用にはご使用できません。	最大99品種の品種データが登録できます。 作業に応じて登録した品種データを呼び出し、品種ごとの歩留り範囲をバーグラフで直感的に把握することができます。	19 22 29
チェッカ機能 目標質量に対して過量・適量・軽量であるかを知りたい	最大99品種の上下限登録が出来ます。 作業に応じて登録した上下限設定値を呼び出し、現在の入れ目が目標質量に対して過量・適量・軽量であるかをバーグラフ表示で把握することができます。	19 24 32
ランク選別機能 ランクごとの目標質量に対してランク選別したい ※この機能は取引証明用にはご使用できません。	最大12品種、１品種あたり最大15ランク、または、最大66品種、１品種あたり最大２ランク分のデータを登録できます。 作業に応じて登録したランク設定値を呼び出し、質量ごとに品物をランク分けし、ランク番号を表示します。	20 26 34
簡易設定機能 定量計量機能の設定値及びチェッカ機能の設定値の入力を簡単に行いたい	キー入力ではなく、計量で設定することができます。	37

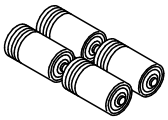
製品の構成

付属品

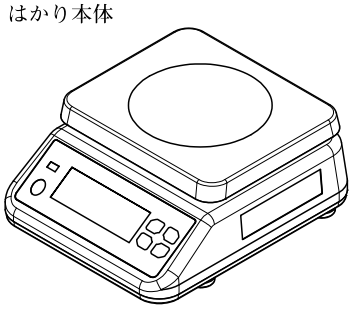
取扱説明書



モニター用乾電池

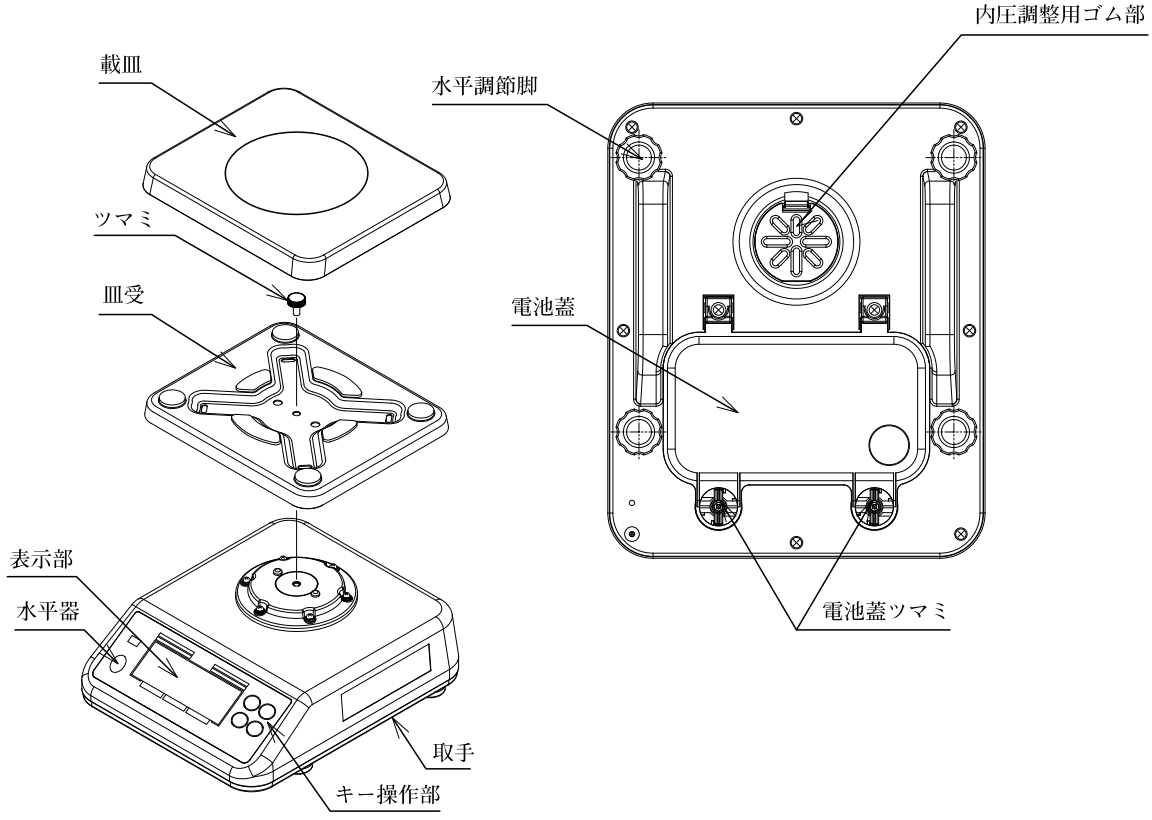


はかり本体



付属の電池は工場出荷時にモニター電池用として納めていますので、電池寿命が短くなっている場合があります。

各部の名称



はかりの性能を維持させるために

・この防水型デジタル上自は、水深１ｍに24時間水没しても水が浸入しないIP68グレードであり、IP67グレード品より安全にご使用いただけるように設計されておりますが、この条件はあくまで試作時の付加試験条件であり、日常のご使用において水没洗浄は、部品の劣化等を招き防水性能の維持が困難になる場合がありますので避けてください。

・はかり全体を洗浄する場合はきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。海水、汚れた水、不純物の入った水を使用すると故障の原因になります。

・はかり全体の汚れを落とす場合は柔らかい布を使用してください。
たわしやブラシなどは使用しないでください。

・はかり（全体）から載皿、および皿受を取り除いたはかり本体部を次亜塩素酸で水没洗浄することは、部品の劣化を招き品質の維持が出来なくなる可能性がありますので避けてください。
はかり本体部を次亜塩素酸で洗浄される場合はシャワー洗浄程度に留め、シャワー洗浄した後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。

・載皿、および皿受を取り外し次亜塩素酸で殺菌洗浄される場合は、200ppm以下の次亜塩素酸に５～10分程度浸漬させた後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。

・中性洗剤で洗浄される場合は、中性洗剤をスポンジに含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。

・はかり全体をアルコール消毒する場合は、アルコール濃度80%以下の溶液を布に含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。
樹脂部品及びフロントフィルム部はきれいな水で洗ってください。

・分解や改造は絶対にしないでください。防水性を損なう原因になります。万一、誤って分解したときは必ず弊社へ連絡願います。

・本製品を落としたり、テーブルなどの固いものにぶつけたりしないでください。
ひび割れが発生し、防水性を損なう原因になることがあります。

・砂、ほこり、ゴミの多いところで電池蓋を開閉しないでください。
パッキンに異物が付着すると、防水性を損なう原因になることがあります。

・乾電池交換時は、はかり本体の水分を乾いた清潔な布で確実に拭き取ってください。

・乾電池交換後、電池蓋は確実に締めてください。（乾電池交換方法参照）

・表示部、スイッチ部、ゴム部を爪や尖った物で押さないでください。

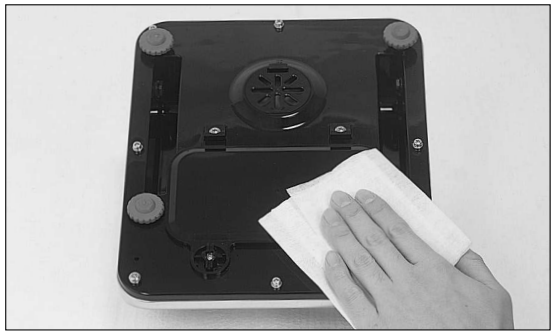
・内圧調整用ゴム部にゴミや異物が入っている場合は除去してください。（内圧調整用ゴム部清掃方法参照）

・ご使用後は、はかりを乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。

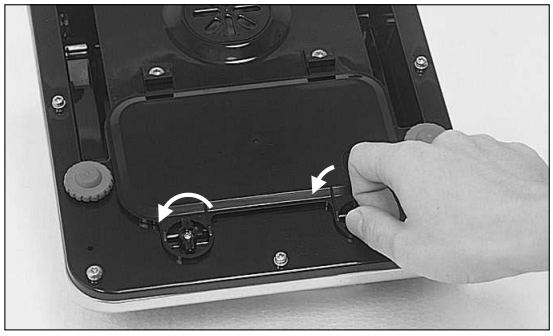
乾電池のセット及び交換方法

1．本体を裏返しにします。このとき載皿に無理な力が掛からないよう、慎重かつ丁寧に作業をおこなってください。

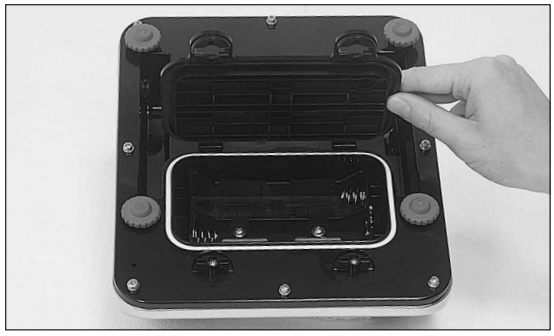
2．はかり全体に水や汚れが付いている場合、乾いた清潔な布で十分に拭き取ってください。



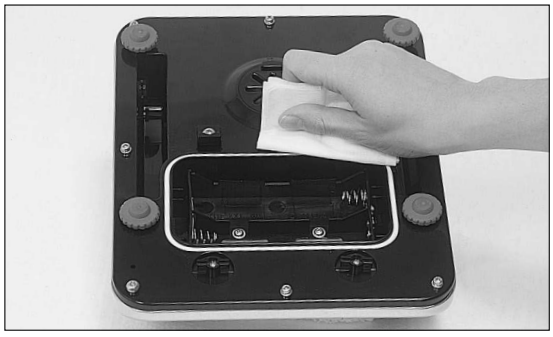
3．電池蓋のツマミを反時計周りに90°回転します。



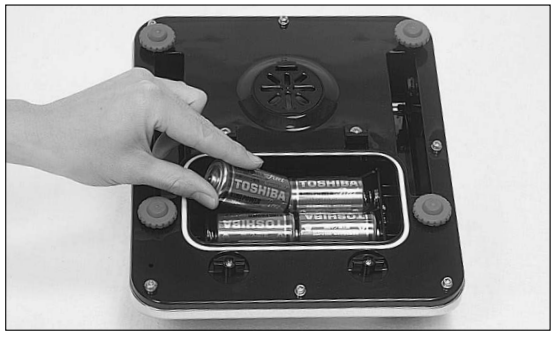
4．電池蓋を外します。



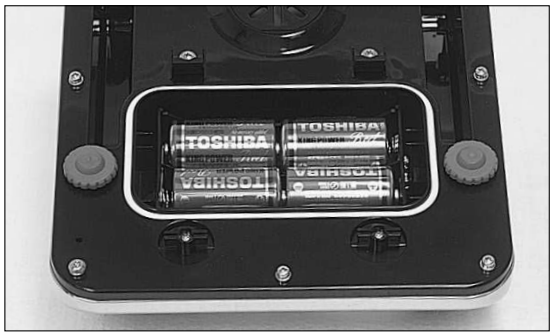
5．電池ボックス外周のパッキンに水や汚れが付着している場合、乾いた清潔な布で十分拭き取ってください。



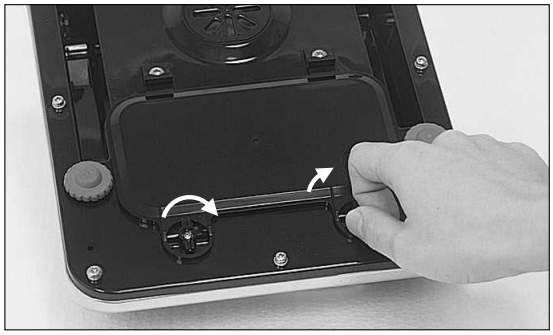
6．乾電池は電池ボックスに刻んである通り正しい向きに装着してください。向きを間違えるとはかりが故障することがあります。



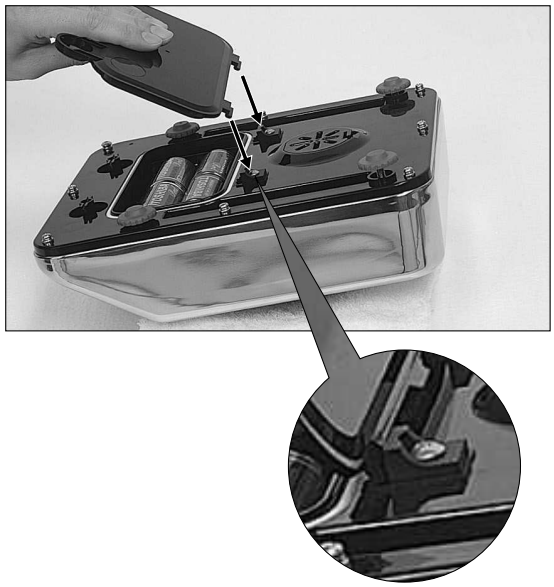
7．乾電池が最後まで適切に装着されているか確認してください。不完全に装着すると電池蓋が完全に閉まらず､防水性を損なう原因になることがあります。



9．ツマミを時計回りに90°回して、電池蓋をしっかりと閉じてください。



8．電池蓋の爪を矢印の部分に挿入してください。

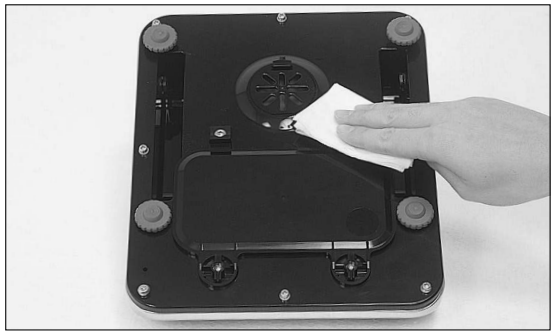


(注記)
電池蓋のツメ(２箇所)が本体のひっかけ部に確実に挿入されていることを確認してください。確実に挿入されていないと防水性が損なわれ、使用できなくなります。

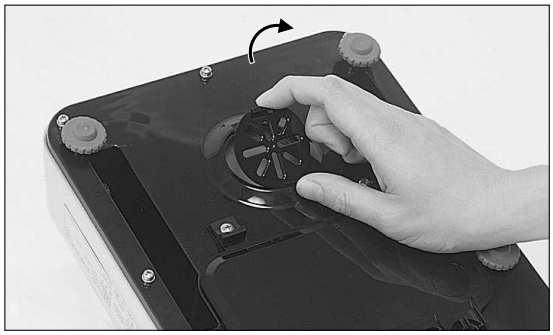
内圧調整用ゴム部の清掃方法

1．本体を裏返しにします。
　このとき載皿に無理な力が掛からないよう慎重かつ丁寧に作業してください。

2．はかりの表面に水や汚れが付着している場合、乾いた清潔な布で十分に拭き取ってください。



3．内圧調整用ゴム部カバーの爪を外し、本体から取ります。



4．指で内部のゴミや異物を取り除きます。
　このとき、ゴムに無理な力が掛からないよう慎重かつ丁寧に作業してください。
　また、内圧調整用ゴムを破らないよう注意してください。

5．内圧調整用ゴム部カバー手前を引っ掛けて蓋をしてください。

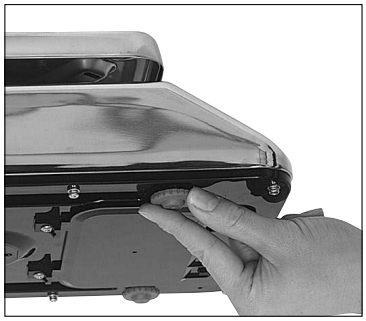
設置場所について

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。水平でないと正しい計量ができません。また、がたつきがあっても正しい計量ができません。

注意：傾いた床には置かないでください。（水平調整できる範囲を超える場合）

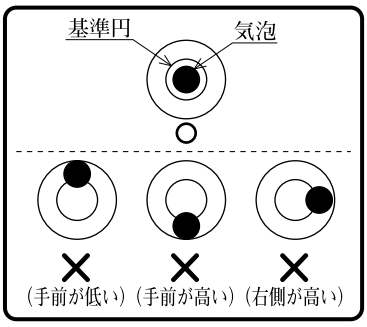
はかり本体底面には水平を調整するための水平調節脚が 4 つあります。

なるべく平らな場所で、水平器の気泡が基準円の中心に来るよう水平調節脚を回して調整してください。また、水平調節脚が浮かないように調整してください。



水平調節脚を回すと高さが変わります。

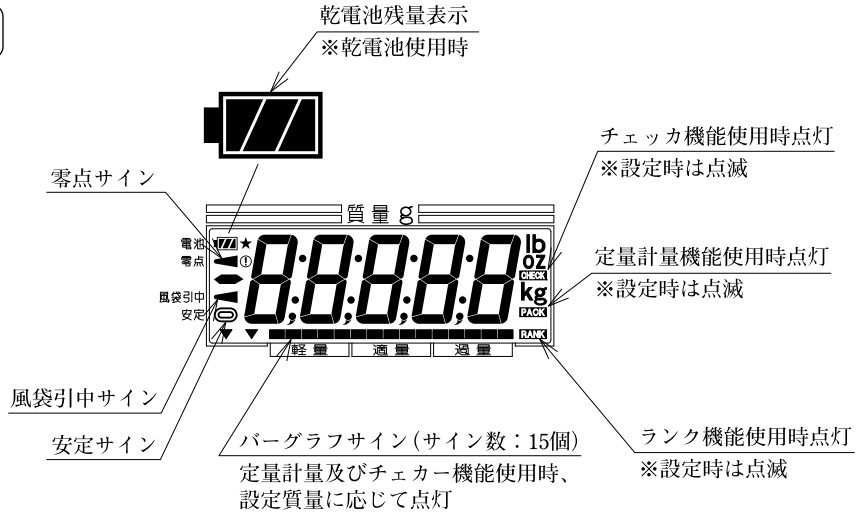
気泡の位置により水平がわかります。



水平器の見方

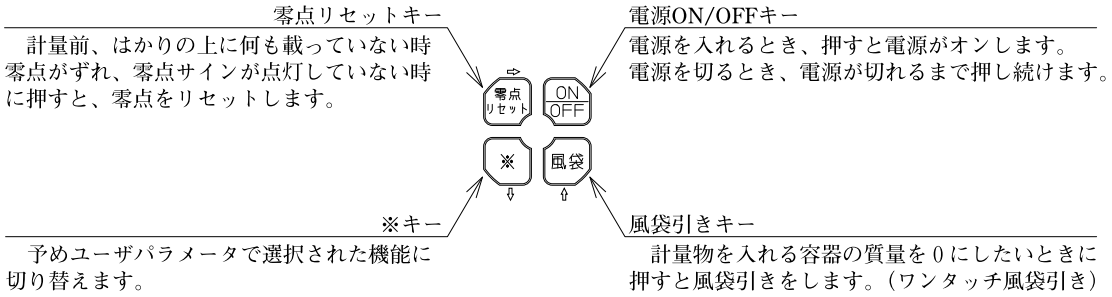
表示部及びキー操作部について

表示部



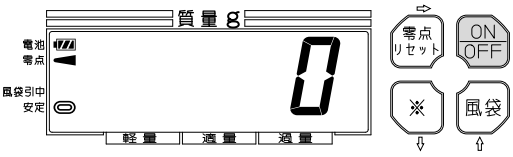
キー部（質量表示時）

通常の質量を表示しているときは、各機能のサインが消灯しています。

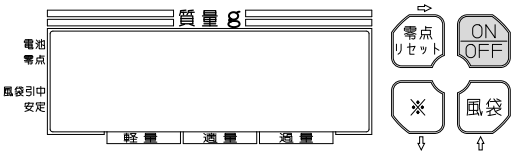


計量のしかた

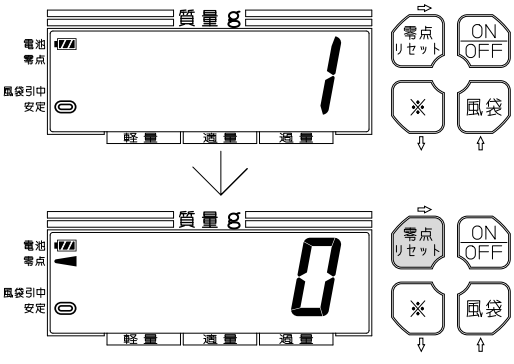
例）電源ONして、25gの計量物を計量する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	ON OFF を押してください。 ※全ての表示が点滅した後に 0 を表示します。	
②	表示が 0 であることを確認してから、はかりに計量物を載せてください。 ※計量物の質量値を表示し、はかりが安定すると安定サインが点灯します。 （表示は計量物の質量が25gの場合です。）	

電源オフのしかた

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	

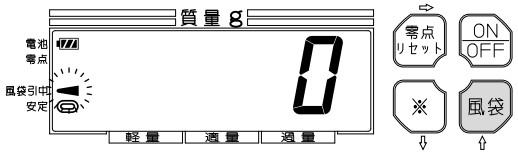
零点リセットのしかた

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押してください。 ※零点をリセットし、0 と表示します。	

風袋引のしかた

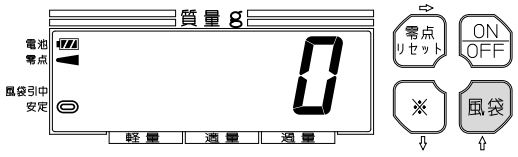
風袋引きは、容器の質量を差し引いた正味質量を表示させたい場合に使います。
※風袋とは、容器のことです。

例）25gの容器を風袋引き後、150gの計量物を計量する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	容器をはかりに載せてください。 ※表示部には、容器の質量（25g）を表示します。	
②	安定サインが点灯したら 風袋 を押します。 ※風袋引中サインが点灯し、質量表示が 0 と表示します。	
③	計量物を載せてください。 ※容器の質量を差し引いた、計量物の正味質量が表示されます。 （表示は計量物の質量が150ｇの場合です。）	

風袋引の取り消し

例）25gの風袋を取り除き、風袋引きを取り消す場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	はかりから容器を取り除いてください。 ※容器の質量をマイナス表示します。 （表示は容器の質量が25gの場合です。）	
②	風袋 を押してください。 ※風袋引中サインが消灯し、質量表示が 0 と表示します。	

ユーザパラメータについて

ＵＤＳ－１ＶⅡ/１ＶＮ－ＷＰでは、ご使用用途に応じた機能をユーザパラメータの設定により使用できます。
ユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定をしてご使用ください。

ユーザパラメータ表

番号	名　称	設 定 値：　　機　　能　　説　　明
＃01	ﾏﾙﾁﾌｧﾝｸｼｮﾝﾀｲﾌﾟ選択	000：マルチファンクション機能停止（出荷時設定） 001：定量計量機能 002：チェッカ機能 003：ランク選別機能
＃02	ランク設定数	000：マルチファンクション機能停止 001～015：006（出荷時設定）
＃03	ブザー鳴音選択	000：ブザーを鳴らさない（出荷時設定） 001：軽量で鳴らす 002：適量で鳴らす 003：過量で鳴らす 004：軽量・過量で鳴らす
＃04	安定時ランク判別表示	000：非安定時でもランク判別表示（出荷時設定） 001：安定時のみランク判別表示
＃05	オートオフ時間（分）	000：オートオフしない 001：5分後オートオフ 002：10分後オートオフ 003：15分後オートオフ（出荷時設定） 004：30分後オートオフ 005：60分後オートオフ
＃06	定量計量機能時自動風袋引き	000：自動風袋引きしない（出荷時設定） 001：自動風袋引きする
＃07	判定時表示点滅選択	000：表示点滅させない（出荷時設定） 001：軽量時安定で点滅 002：適量時安定で点滅 003：過量時安定で点滅 004：軽量または、過量時安定で点滅 005：＃03：「ブザー鳴音選択」に同期させる
＃C4	［簡易設定］ 許容値の単位選択	000：目量 001：パーセント（基準値に対する割合）
＃C5	［簡易設定］ 許容値の設定幅	000：1目量または1パーセントとして許容値に適用 001～255：設定した目量または割合として許容値に適用

各ユーザパラメータの説明

番号＃01：マルチファンクションタイプ選択

ＵＤＳ－１ＶⅡ/１ＶＮ－ＷＰには、定量計量機能、チェッカ機能、ランク選別機能搭載されています。番号＃01のマルチファンクションで、作業に応じた機能を選択してください。

〈注意〉ご使用される機能を変更する場合、変更前の機能で設定された設定値は全て消去されます。

番号＃02：ランク設定可能数

ランク選別機能時は設定する数を制限することで、はかり内部のメモリに記憶できる品種を増やすことができます。

「分類するランク数がそんなに多くない」、「記憶できる品種を増やしたい」といった場合、実際作業される品種で、一番多いランク区分数を決め設定してください。

ユーザパラメータの設定値を変更することで記憶できる品種数は右記表の様になります。

ランク選別時

ランク設定数	登録品種数	ランク設定数	登録品種数
02	66 品種	09	19 品種
03	49 品種	10	18 品種
04	39 品種	11	16 品種
05	33 品種	12	15 品種
06	28 品種	13	14 品種
07	24 品種	14	13 品種
08	22 品種	15	12 品種

〈“ランク設定可能数”と品種登録との関係〉

※設定数は、設定をするランク区分数となります。

番号＃03：ブザー鳴音選択

定量計量機能または、チェッカ機能使用時の作業において、設定された範囲で安定した場合ブザーを鳴らすことができます。

番号＃04：安定時ランク判別表示

ランク選別時に表示するランク表示を、品物を載せ、安定したときに表示させる場合この設定を001に変更してご使用ください。

番号＃05：オートオフ時間

設定値を変更することで、オートオフ時間を変更することができます。

番号＃06：定量計量機能時自動風袋引き

定量計量機能時、風袋込みで１つの製品とする場合は、設定値を００１に変更すると、はかりが０表示の時に最初に載せたものを風袋として自動的に風袋引きします。

番号＃07：判定時表示点滅選択

質量判定時、表示が安定し、表示を点滅させる場合は、任意の設定値に変更してください。ランク選別機能時は、どの設定にしても表示が点滅します。

番号＃C4：簡易設定時 許容値の単位選択

＃Ｃ５で設定した値の単位を選択します。

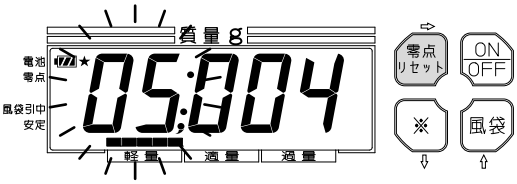
番号＃C5：簡易設定時 許容値の設定幅

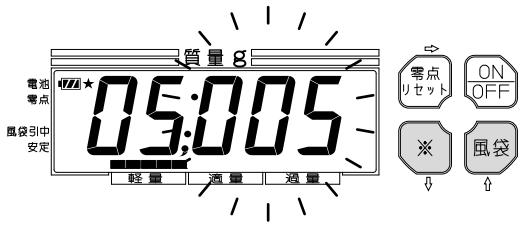
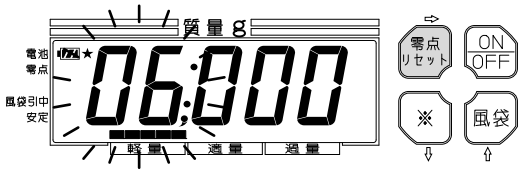
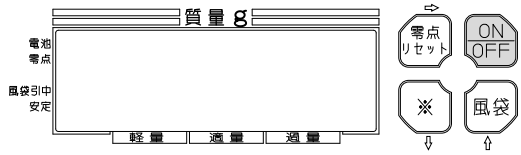
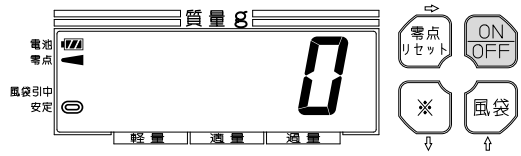
目標値からの許容値（下限値から上限値までの差）を＃Ｃ４で選択した単位分、自動的に設定します。

ユーザパラメータの変更方法

Ⅰ．オートオフ時間の設定値を変更する

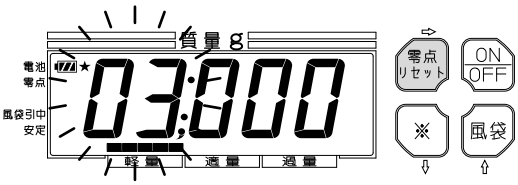
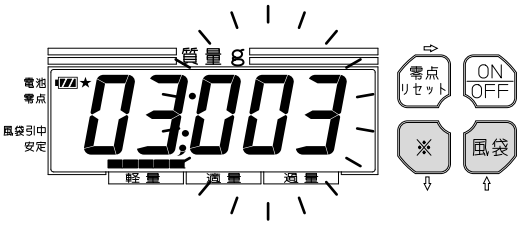
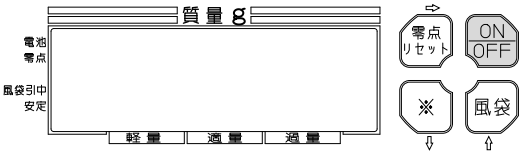
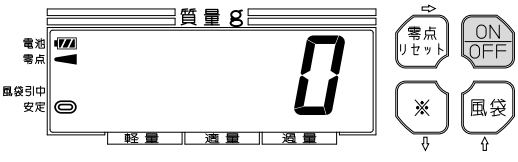
例）オートオフ時間の設定値００４（30分後オートオフ）から、設定値００５（60分後オートオフ）に変更する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押して、パラメータ番号を０５まで移動させます。 注意：０５を通り過ぎた場合は、そのまま 零点リセット を押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
③	※ 又は 風袋 を押して、設定値００５に変更してください。 ※ ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
④	零点リセット を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFF を押してください。 ※電源がオンします。 オートオフ時間設定値が変更されました。 設定終了です。	

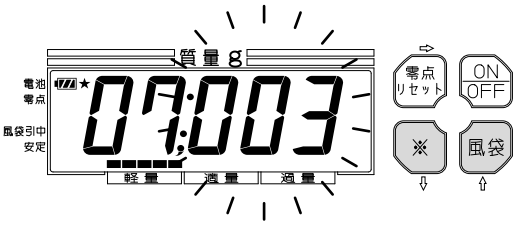
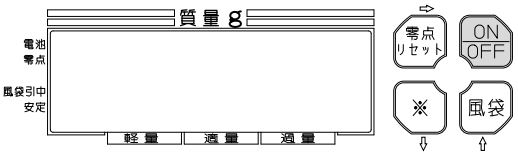
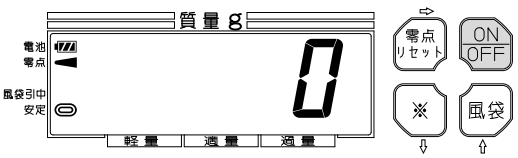
Ⅱ．ブザー鳴音選択設定値の変更

例）ブザー鳴音選択の設定値０００（ブザーを鳴らさない）から設定値００３（過量範囲時鳴らす）に変更する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押して、パラメータ番号を０３まで移動させます。 注意：０３を通り過ぎた場合は、そのまま 零点リセット を押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	
③	※ 又は 風袋 を押して、設定値００３に変更してください。 ※ ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
④	零点リセット を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFF を押してください。 ※電源がオンします。 ブザー鳴音設定値が変更されました。 設定終了です。	

Ⅲ．判定時表示点滅選択設定値の変更

例）判定時表示点滅選択の設定値０００（表示点滅させない）から設定値
００３（過量時安定で点滅）に変更する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押して、パラメータ番号を０７まで移動させます。 注意：０７を通り過ぎた場合は、そのまま 零点リセット を押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	
③	※ 又は 風袋 を押して、設定値００３に変更してください。 ※ ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
④	零点リセット を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFF を押してください。 ※電源がオンします。 判定時表示点滅選択設定値が変更されました。 設定終了です。	

マルチファンクション機能について

マルチファンクション機能とは

マルチファンクション機能は、バーグラフ表示と質量表示の２つを用いて、より効率の良いスピーディーな計量作業をサポートするための機能です。

Ⅰ. 定量計量機能

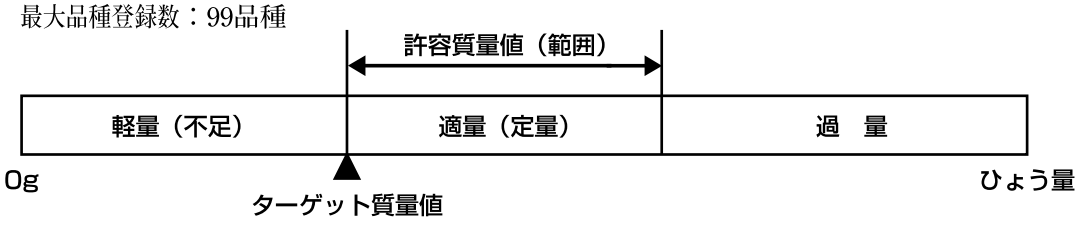
用　　途：パック詰めなどの定量詰め作業

計 量 方 式：定量詰めする品物の質量をあらかじめはかりに記憶させ、その値をマイナス表示させる。（定量まで品物を載せると表示が０になる。）

目　　的：①作業者が記憶していた定量の値をはかりに記憶させ、人為的ミスを防ぐ。
②バーグラフ表示により、現在の投入量を表示させることで、歩留まりを向上させる。

記憶させる値：①ターゲット質量値（定量の下限値）
②許容質量値（定量の範囲）

最大品種登録数：99品種



Ⅱ. チェッカ機能

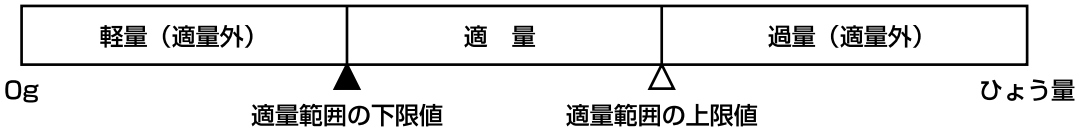
用　　途：チェック作業

計 量 方 式：チェックをおこなう品物の適量範囲をあらかじめはかりに記憶させ、質量表示とバーグラフ表示の推移で適量かどうか表示させる。

目　　的：①品物の質量をバーグラフ表示させることで、より直感的に適量範囲を知らせる。
②バーグラフ表示の推移を見ることで、作業効率を向上させる。

記憶させる値：①適量範囲の下限値
②適量範囲の上限値

最大品種登録数：99品種



Ⅲ. ランク選別機能

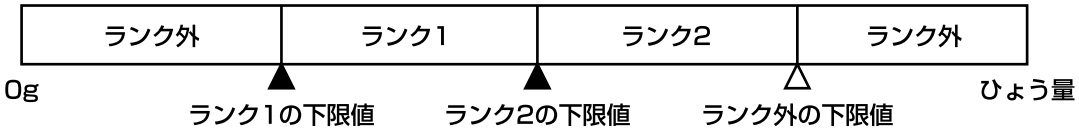
用　　途：ランク選別作業

計 量 方 式：あらかじめ、各ランクに相当する質量値をはかりに記憶させ、記憶した質量値に基づいてランクを表示させる。

目　　的：①これまで質量値を用いておこなっていたランク選別作業を文字や数字で表すことで、数値の読み間違いなどの人為的ミスをなくす。
②計量結果を数字や文字で表示させることで、ランク選別作業のスピーディー化。

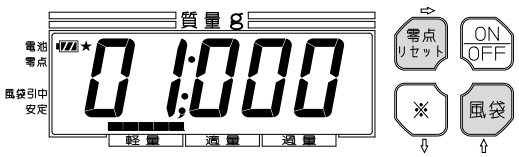
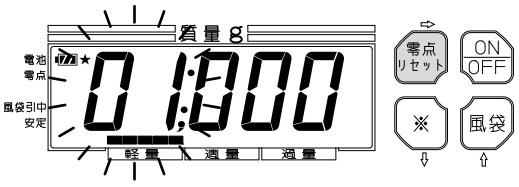
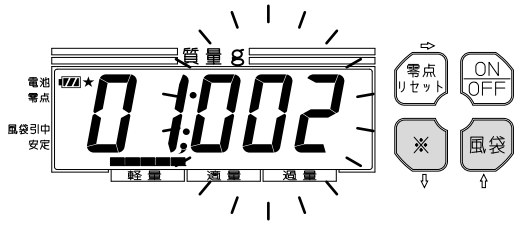
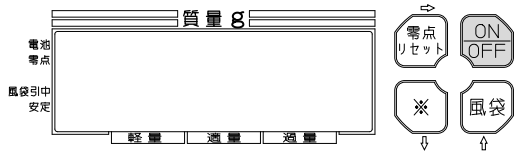
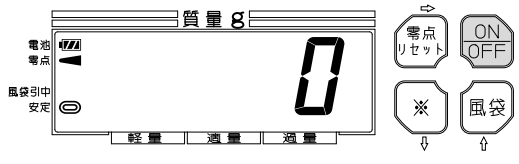
記憶させる値：①ランクに相当する質量範囲の下限値
②ランク外の下限値

最大品種登録数：２ランク66品種又は、15ランク12品種



マルチファンクションタイプの変更方法

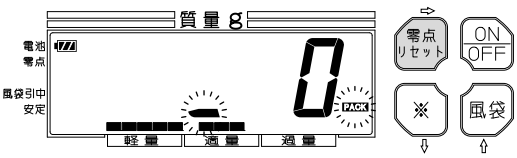
例）マルチファンクションタイプの設定値０００（マルチファンクション機能停止）から、
設定値００２（チェッカ機能）に変更する場合

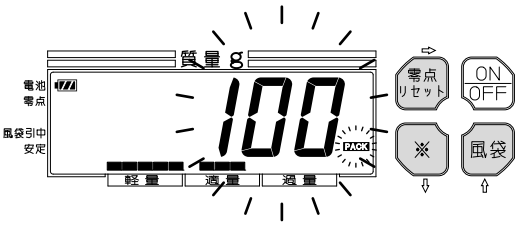
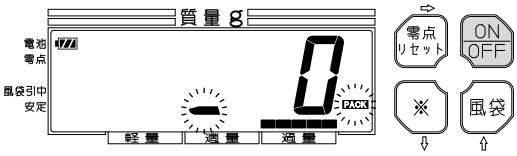
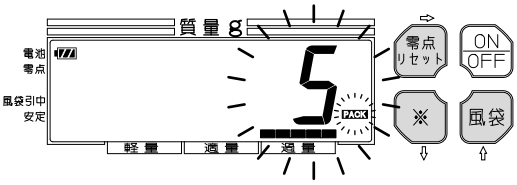
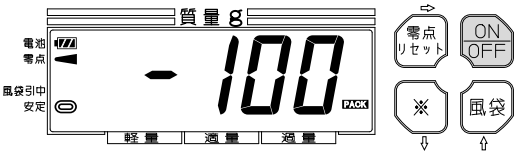
	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押して、ユーザパラメータ番号を０１まで移動させます。 ※０１を通り過ぎた場合は、 零点リセット を押してパラメータ番号を進めてください。ユーザパラメータ番号が一巡します。	
③	※ 又は 風袋 を押して、設定値００２に変更してください。 ※ ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
④	零点リセット を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFF を押してください。 ※電源がオンします。 マルチファンクション機能の設定が変更されました。 設定終了です。	

品種データを登録する

Ⅰ．定量計量機能

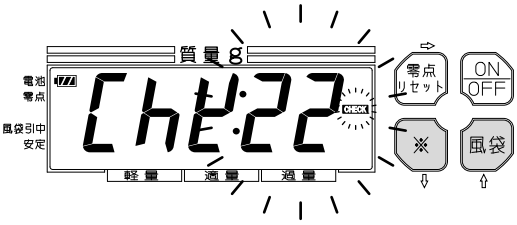
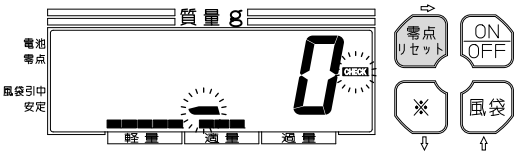
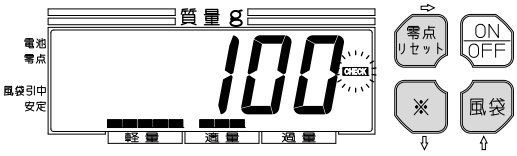
例）品種番号１３にターゲット質量値100g、許容質量値5gを設定する場合

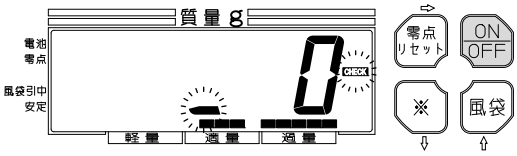
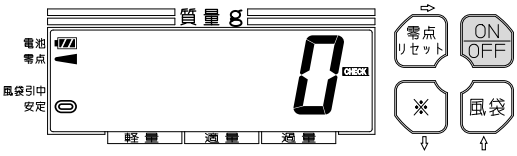
	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種データの登録前に、あらかじめマルチファンクションタイプの設定を００１に設定しておいてください。 ○マルチファンクションタイプの変更方法 →P21へ また、最初に載せたものを風袋として自動風袋引きさせる場合は、あらかじめユーザパラメータの番号＃０６の設定を００１に設定しておいてください。 ○ユーザパラメータについて→P13へ	
②	ON/OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
③	※ 又は 風袋 を押して、品種番号１３に変更してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
④	零点リセット を押してください。 ※定量詰めのターゲット質量値を入力する画面に移ります。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
⑤	零点リセット 、 ※ もしくは 風袋 を押して任意のターゲット質量値を入力してください。 例）100gの定量詰めをおこなう際は100と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－1 風袋 ：設定値を＋1	
⑥	ON OFF を押してください。 ※許容質量値を入力する画面に移ります。	
⑦	零点リセット 、 ※ もしくは 風袋 を押して任意の許容質量値を入力してください。 例）許容質量値が105gの際は、5と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－1 風袋 ：設定値を＋1	
⑧	ON OFF を押してください。 ※品種番号13に任意のデータが登録されました。 定量計量機能が開始されます。	

Ⅱ．チェッカ機能

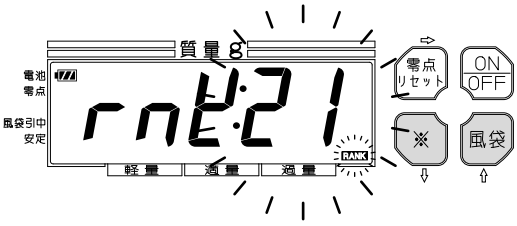
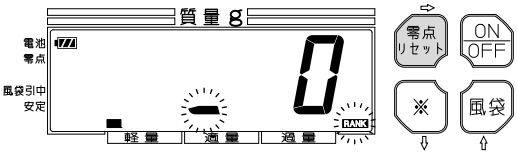
例）品種番号22に100gから110gまでの適量範囲を設定する場合

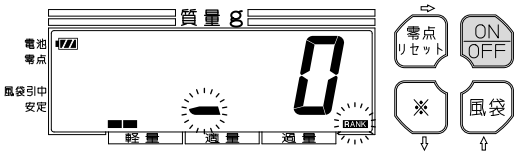
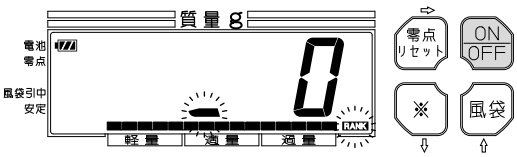
	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種データの登録前に、あらかじめマルチファンクションタイプの設定を００２に設定しておいてください。 マルチファンクションタイプの変更方法 →P21へ	
②	ON/OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
③	※ 又は 風袋 を押して、品種番号２２に変更してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
④	零点リセット を押してください。 ※適量範囲の下限値を入力する画面に移ります。	
⑤	零点リセット 、 ※ 又は 風袋 を押して任意の下限質量値を入力してください。 例）100gから110gまでを適量範囲に設定する場合、下限値に100と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	

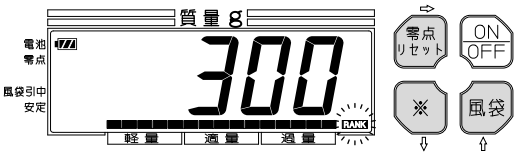
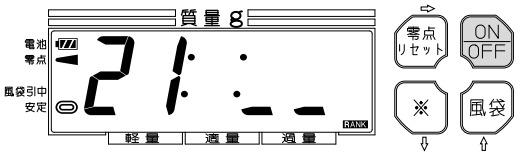
	操　作　説　明	表　示　内　容
⑥	ON OFF を押してください。 ※適量範囲の上限値を入力する画面に移ります。	
⑦	零点リセット 、 ※ 又は 風袋 を押して任意の上限値を入力してください。 例）100gから110gまでを適量範囲に設定する場合、上限値に110と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－1 風袋 ：設定値を＋1	
⑧	ON OFF を押してください。 ※品種番号２２に任意のデータが登録されました。チェッカ機能が開始されます。	

Ⅲ．ランク選別機能

例）品種番号２１に２ランク分のデータ（ランク１：100g～200g、ランク２：200g～300g）を設定する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種データ登録前に、あらかじめマルチファンクションタイプの設定値を００３に変更しておいてください。 マルチファンクションタイプの変更方法 →P21へ	
②	品種データ登録前に、あらかじめユーザパラメータ番号＃０２の設定値を００２に変更しておいてください。 ※設定可能なランク数と登録品種数が変更されます。	
③	ON/OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
④	※ 又は 風袋 を押して、品種番号２１に変更してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
⑤	零点リセット を押してください。 ※ランク１の下限値を入力する画面に移ります。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
⑥	零点リセット 、 ※ 又は 風袋 を押して任意の下限値を入力してください。 例）ランク１の範囲を100gから200gまでに設定する場合、100と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
⑦	ON OFF を押してください。 ※ランク２の下限値を入力する画面に移ります。 注意：２番目以降のランク設定値入力は、１つ手前のランク設定値より小さい、又は（１つ手前のランク値と）同じ場合、エラーブザーが鳴り、次のランク設定値入力に進むことができません。	
⑧	零点リセット 、 ※ 又は 風袋 を押して任意の下限値を入力してください。 例）ランク２の範囲を200gから300gまでに設定する場合、200と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
⑨	ON OFF を押してください。 ※ランク外の下限値を入力する画面に移ります。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
⑩	零点リセット 、 ※ 又は 風袋 を押して任意の下限値を入力してください。 例）ランク外の範囲を300gからとして設定する場合、300と入力してください。 ※ 零点リセット ：設定値桁の移動 ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
⑪	ON OFF を押してください。 ※品種番号２１に任意のデータが登録されました。ランク選別機能が開始されます。	

品種データを呼び出し、作業をおこなう

Ⅰ．定量計量機能　注意：登録された品種データは、電源をオフしても、消去されません。

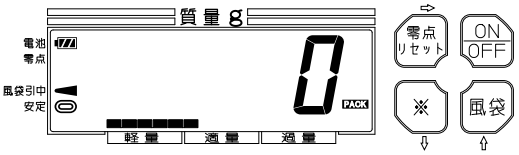
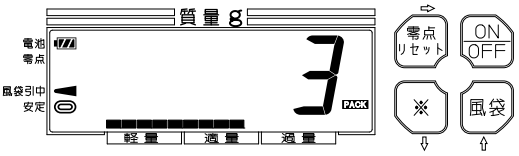
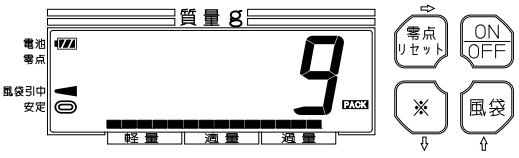
登録データの呼び出し

例）品種番号３５（ターゲット質量値100g、許容質量値5g）を呼び出す場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	事前にマルチファンクションタイプの設定値を００１に変更し、品種データを入力しておいてください。	
②	ON OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
③	※ 又は 風袋 を押して、品種番号３５を選択してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
④	ON OFF を押してください。 ※選択した品種番号の設定でマルチファンクション機能が開始されます。（表示は品種番号３５にターゲット質量値100gが設定されている場合です。）	

計量をおこなう

例）品質番号３５（ターゲット質量値100g、許容質量値5g）を呼び出して作業をおこなう場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種番号３５の登録データを呼び出し、容器をはかりに載せてから 風袋 を押します。 ※風袋引中サインが点灯し、容器の質量を風袋引きします。	
②	はかりに品物を載せていきます。 ターゲット質量値に満たない質量分がマイナス表示します。 例）ターゲット質量値100gに対して、現在の入れ目が52gだった場合、－48と表示します。 バーグラフ表示が軽量内で推移します。	
③	ターゲット質量値まで品物を載せると、０と表示します。 ※バーグラフ表示が適量範囲まで推移します。	
④	ターゲット質量値を超えた質量については、過不足分を表示します。 ※ターゲット質量値100g、許容範囲5gで、103gまで品物を載せた場合、３と表示します。 バーグラフ表示は適量内で推移します。	
⑤	品物の質量が許容質量を超えた場合、バーグラフ表示が過量範囲まで達します。 ※表示はターゲット質量値100g、許容範囲5gで、109gまで品物を載せた場合です。	

質量表示に戻す

作業の途中で質量を確かめたい、または、作業が終わったので質量表示に戻す場合は、一旦、はかりからすべての品物を降ろし、零点サインが点灯してから ※ を押してください。

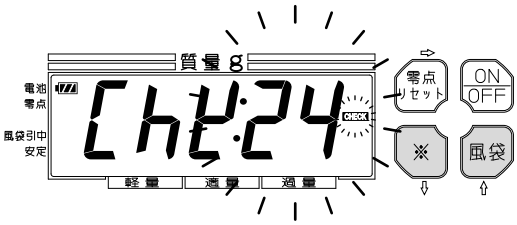
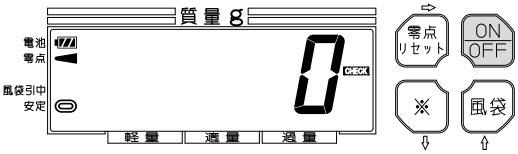
（零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。）

※機能サインが消灯し、質量表示に戻ります。もう一度 ※ を押すと、定量表示に戻ります。

Ⅱ．チェッカ機能　注意：登録された品種データは、電源をオフしても消去されません。

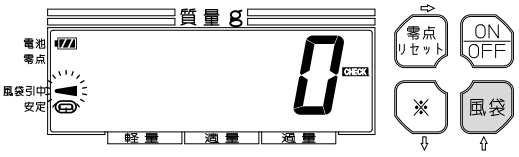
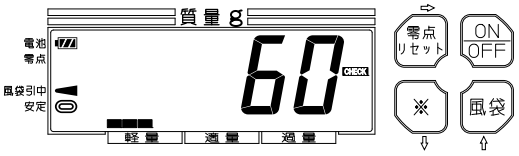
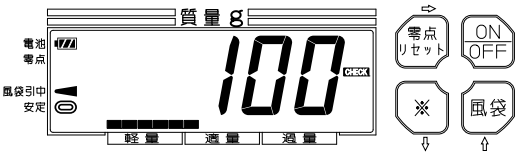
登録データの呼び出し

例）品種番号２４を呼び出す場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	事前にマルチファンクションタイプの設定値を００２に変更し、品種データを入力しておいてください。	
②	ON/OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
③	※ 又は 風袋 を押して、品種番号２４を選択してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
④	ON/OFF を押してください。 ※選択した品種番号の設定でマルチファンクション機能が開始されます。	

計量をおこなう

例）品種番号０２（適量範囲が100ｇから200ｇ）を呼び出して作業をおこなう場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種番号０２の登録データを呼び出し、容器をはかりに載せてから 風袋 を押します。 ※風袋引中サインが点灯し、容器の質量を風袋引きします。	
②	はかりに品物を載せます。 品物の質量値が適量範囲に満たない場合、軽量範囲までバーグラフが推移します。 （表示は質量値が60ｇの品物を載せた場合です。）	
③	ターゲット質量値まで品物を載せるとバーグラフ表示が適量範囲まで推移します。	
④	品物の質量が適量範囲よりも重い場合、バーグラフが過量範囲まで推移します。	

質量表示に戻す

作業の途中で質量を確かめたい、または、作業が終わったので質量表示に戻す場合は、一旦、はかりからすべての品物を降ろし、零点サインが点灯してから ※ を押してください。

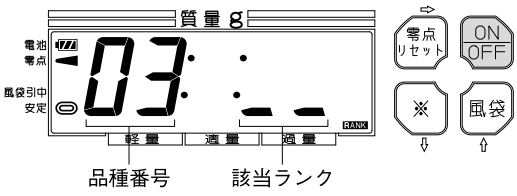
（零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。）

※機能サインが消灯し、質量表示に戻ります。もう一度 ※ を押すと、チェッカ表示に戻ります。

Ⅲ．ランク選別機能　注意：登録された品種データは、電源をオフしても消去されません。

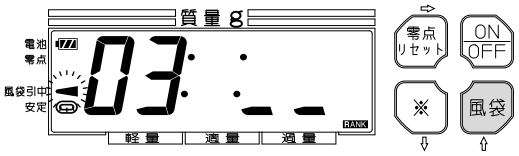
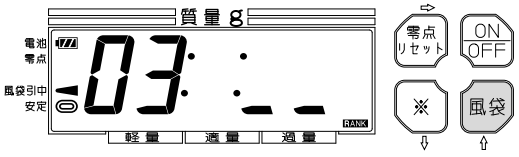
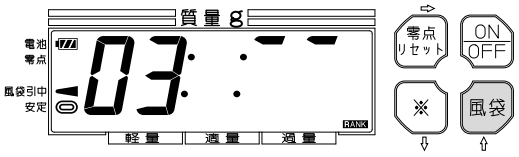
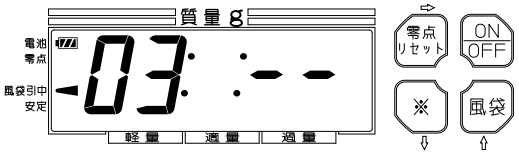
登録データの呼び出し

例）品種番号０３（２ランク分のデータ登録済）を呼び出す場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	事前にマルチファンクションタイプの設定値を００３に変更し、品種データを入力しておいてください。	
②	品物を載せ、安定したときにランク番号を表示させる場合、あらかじめユーザパラメータ番号＃０４の設定値を００１に変更しておいてください。	
③	ON OFF を押してください。 ※品種選択表示に変わります。	
④	※ 又は 風袋 を押して、品種番号０３を選択してください。 ※ ※ ：品種番号を－１ 風袋 ：品種番号を＋１ ※ を押しながら 風袋 ：品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ ：品種番号を＋10	
⑤	ON OFF を押してください。 ※選択した品種番号の設定でマルチファンクション機能が開始されます。（表示は品種番号０３に２ランク分のデータが設定されている場合です。）	

計量をおこなう

例）品種番号０３（ランク１：200g～300g、ランク２：300g～400g）を呼び出して作業をおこなう場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	品種番号０３を呼び出し、容器をはかりに載せてから 風袋 を押します。 ※風袋引中サインが点灯し、容器の質量を風袋引きします。	
②	はかりに品物を載せます。 品物の質量をランク番号で表示します。 例）品物の質量値が250gだった場合、ランク１と表示します。	
③	品物の質量がランク1よりも軽い場合、ランク表示しません。 ※アンダーバー表示のままです。 例）質量が150ｇの品物を載せた場合	
④	品物の質量が設定ランクよりも重い場合、ランク表示されません。 ※オーバーバーが表示されます。	
⑤	ユーザパラメータ番号＃０４の設定値を００１（安定時のみランク判別表示）にした場合、品物を載せ、はかりが安定し、ランク番号を表示するまでは、“－－”（マイナス）表示します。	

質量表示に戻す

作業の途中で質量を確かめたい、または、作業が終わったので質量表示に戻す場合は、一旦、はかりからすべての品物を降ろし、零点サインが点灯してから ※ を押してください。

（零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。）

※機能サインが消灯し、質量表示に戻ります。もう一度 ※ を押すと、ランク表示に戻ります。

簡易設定機能

簡易設定機能とは、定量計量機能の目標値及びチェッカ機能の下限値の設定を簡単に設定できる機能です。
簡易設定機能をお使いいただくには、予め次のユーザパラメータを設定していただく必要があります。

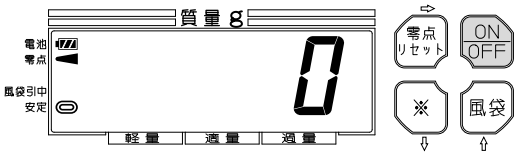
パラメータ＃Ｃ４：目標値からの許容値（下限値から上限値までの差）を目量設定かパーセント設定の切換
パラメータ＃Ｃ５：許容値の設定幅

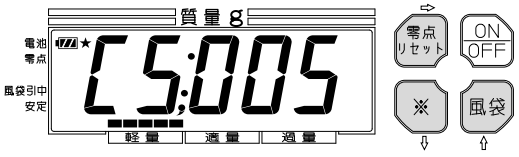
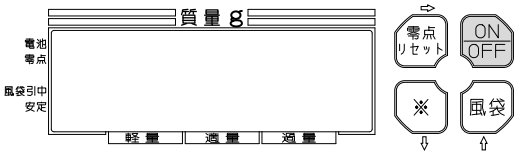
定量計量機能時の目標値の設定方法

目標値をキー入力でなく、計量で入力します。
許容値は、ユーザパラメータの設定から自動的に設定します。
許容値が５目量になるように設定したい場合は、ユーザパラメータＣ４を０００、ユーザパラメータＣ５を００５に設定します。
許容値を目標値の１０％に設定したい場合は、ユーザパラメータＣ４を００１、ユーザパラメータＣ５を０１０に設定します。

１．ユーザパラメータの設定

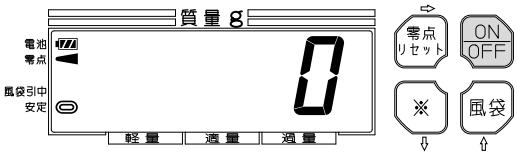
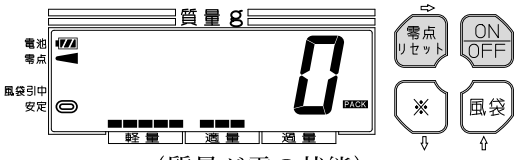
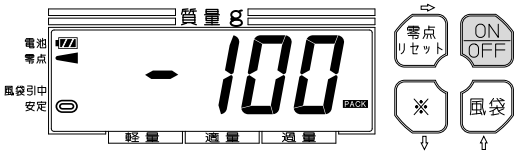
例）許容値が５目量になるように設定します。

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	ON OFF を押して電源を入れます。	
②	風袋を押しながら 零点リセットを押してください。 ユーザパラメータ０１が００１でない場合は、 ※ 又は 風袋を押して００１に変更してください。 ※ ：設定値を－１ 風袋 ：設定値を＋１	
③	零点リセットを押すと記憶します。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
④	零点リセット を押して、パラメータ番号をＣ４まで移動させます。 ※ 又は風袋を押して０００に設定してください。	
⑤	零点リセット を押して、パラメータ番号をＣ５まで移動させます。 ※ 又は風袋を押して００５に設定してください。	
⑥	零点リセットを押すと記憶します。	
⑦	電源が切れるまで、ON OFFを押してください。 ※電源がオフします。	

２．目標値の設定

例）目標値を１００gのサンプルを使って設定します。

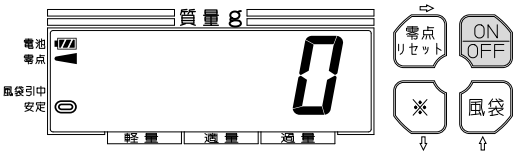
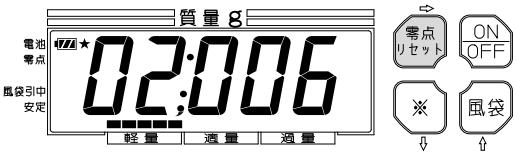
	操　作　説　明	表　示　内　容
①	ON OFF を押して電源を入れます。	
②	ON OFF を押してください。 ※品種選択画面に変わります。 品種を変える場合は、 ※ 又は 風袋 で変更します。	
③	零点リセット と ON OFF を押してください。 計量状態になります。 許容値は５目量の設定になっています。	 （質量が零の状態）
④	目標値に相当するサンプルを載せます。 表示例は、サンプルが１００ｇです。 許容値が５ｇですので、上限値は１０５ｇになります。 サンプルを載せたままで、キー操作により計量値の微調整が可能です。 ※：目標値の目量を－１ 風袋：目標値の目量を＋１	 （サンプルを載せた状態）
⑤	ON OFF を押して、サンプルを降ろしてください。 設定が完了しました。	

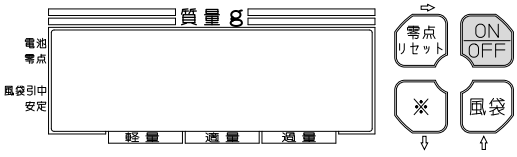
チェッカ機能時の下限値の設定方法

下限値をキー入力でなく、計量で入力します。
上限値は、ユーザパラメータの設定から自動的に設定します。
上限値を下限値＋５目量になるように設定したい場合は、ユーザパラメータＣ４を０００、
ユーザパラメータＣ５を００５に設定します。
上限値を下限値に１０％分を加算した値に設定したい場合は、ユーザパラメータＣ４を００１、
ユーザパラメータＣ５を０１０に設定します。

１．ユーザパラメータの設定

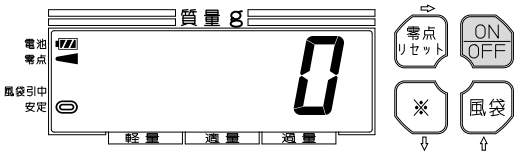
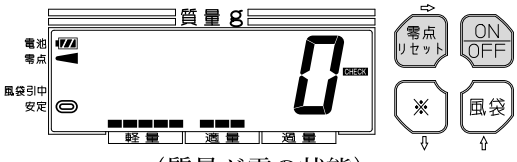
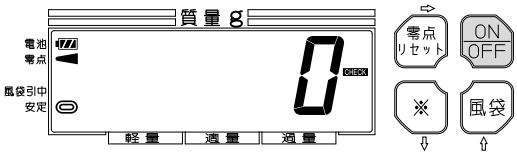
例）上限値が下限値＋５目量になるように設定します。

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	ON OFF を押して電源を入れます。	
②	零点リセットを押しながら風袋を押してください。 ユーザパラメータ０１が００２でない場合は、 ※又は風袋を押して００２に変更してください。 ※　：設定値を－１ 風袋　：設定値を＋１	
③	零点リセットを押すと記憶します。	
④	零点リセット を押して、パラメータ番号をＣ４まで移動させます。 ※又は風袋を押して０００に設定してください。	
⑤	零点リセット を押して、パラメータ番号をＣ５まで移動させます。 ※又は風袋を押して００５に設定してください。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
⑥	零点リセットを押すと記憶します。	
⑦	電源が切れるまで、ONOFFを押してください。 ※電源がオフします。	

２．下限値の設定

例）下限値を１００gのサンプルを使って設定します。

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	ONOFFを押して電源を入れます。	
②	ONOFFを押してください。 ※品種選択画面に変わります。 品種を変える場合は、 ※又は風袋で変更します。	
③	零点リセットとONOFFを押してください。 計量状態になります。 許容値は５目量の設定になっています。	 （質量が零の状態）
④	目標値に相当するサンプルを載せます。 表示例は、サンプルが１００ｇです。 上限値が5目量ですので､上限値が105gになります。 サンプルを載せたままで、キー操作により計量値の微調整が可能です。 ※：下限値の目量を－１ 風袋：下限値の目量を＋１	 （サンプルを載せた状態）
⑤	ONOFFを押して、サンプルを降ろしてください。 設定が完了しました。	

エラー表示について

はかりは自動的にいろいろな機能をチェックしています。以下のような表示が出たらエラー表示ですので、対処方法に従って対処してください。

※これら以外の表示がでた場合、対処方法通りに処置しても回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

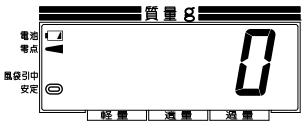
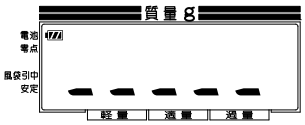
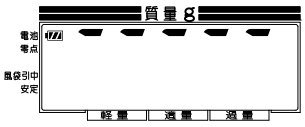
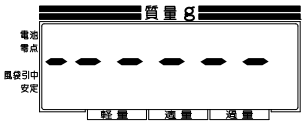
表　示　内　容	原　　因	対　処　方　法
 電池残量少	乾電池の残量が少なくなっています。	すべて新しい乾電池と交換してください。 ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池をまぜて使用しないでください。
 電池切れ	乾電池の残量がなくなっています。	すべて新しい乾電池と交換してください。 ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池をまぜて使用しないでください。
 質量計量不能	質量が－５目量（ひょう量3000ｇの場合は、－５ｇ）未満になっている場合に、表示します。	零点リセット キーを押してください。 またステンレス載皿を取り外した場合は、再度載せてください。
 質量計量不能	質量がひょう量＋５目量（ひょう量3000ｇの場合は、3010ｇ）を超えている場合に表示します。	計量物を取り除くと質量表示になります。はかりの使用範囲内で使用してください。
 質量計量不能	質量を検出する部分に異常があります。	電源を一度オフし、しばらくしてから電源をオンしてください。 回復しない場合はお買いあげの販売店までご相談ください。

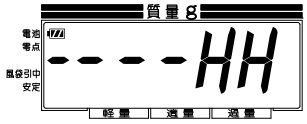
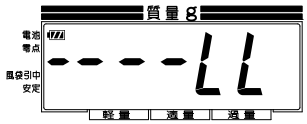
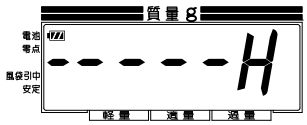
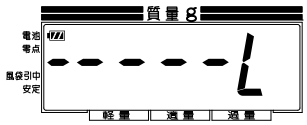
表　示　内　容	原　　因	対　処　方　法
 質量計量不能	重い物を載せたまま電源をオンした。	載皿に何も載せずに、もう一度電源をオンしてください。
 質量計量不能	はかり本体と載皿の隙間に何か物が詰まっている状態で電源をオンした。	物が詰まっていないことを確認してください。また、他の物が載皿に触れていないことを確認してから 零点リセット キーを押してください。回復しない場合はお買いあげの販売店にご相談ください。
 質量計量不能	はかり使用中に重たい計量物を載せて 零点リセット キーを押した。	零点リセットできる範囲を超えています。載せた計量物を取り除いて 零点リセット キーを押してください。
 質量計量不能	載皿に何か載せたままで電源オンし、その後取り除いて 零点リセット キーを押した。	載皿に何も載せずに、もう一度電源をオンしてください。
 プリンタエラー	ロール紙がセットされていないか、プリンタの蓋が開いている可能性があります。	ロール紙がセットされていることを確認し、プリンタの蓋を閉めた上で、再度、電源をオンしてください。
 通信時の異常	通信プログラムソフトまたは、通信媒体が起動していないか、通信距離範囲外の可能性があります。	左記通信媒体が起動していることを確認し、はかりを左記通信媒体に近づけ、再度、電源をオンしてください。 このエラーを一時的に解除したい場合は、※を押し続けてください。一時的にエラーが解除され、計量が可能となります。

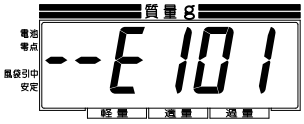
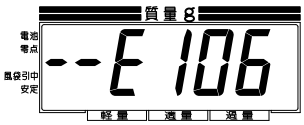
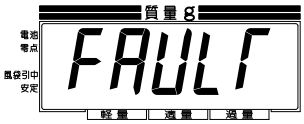
表　示　内　容	原　　因	対　処　方　法
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 スパン調整エラー	スパン調整時に使用した分銅が質量値と異なっている可能性があります。	使用する分銅を確認し、再度、スパン調整を行ってください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。 それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。

表　示　内　容	原　　因	対　処　方　法
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 電子回路の異常	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 プリンタエラー	無線プリンタのバッテリー残量が少なくなっています。	無線プリンタ付属のバッテリー充電専用アダプタにて無線プリンタを充電してください。
 プリンタエラー	無線プリンタのバッテリー残量が少なくなっています。	無線プリンタ付属のバッテリー充電専用アダプタにて無線プリンタを充電してください。
 プリンタエラー	無線プリンタの温度が上昇した場合に表示します。	プリンタの電源をオフし、十分に時間を空けてから再度、電源をオンしてください。それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
 設定値の異常	マルチファンクションの設定中に異常な値が入力されています。	電源ON/OFFキーを押して、もう一度、設定をやり直してください。

UDS-1VⅡ-WP（検定品）の使用地域別重力加速度について

UDS－1VⅡ－WPは、使用地域別に重力加速度補正を行って出荷しています。
異なる地域で使用する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用地域区分　精度等級3級　目量の数　1500以下で5区分

地域名	都道府県名	重力加速度の範囲 (m/s^2)	使用地域番号
北海道地方	北海道	9.803～9.807	①
東北地方（福島県除く）	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県	9.799～9.804	②
福島・関東甲信地方・東海・北陸・近畿・中国・四国地方	福島県、茨城県、新潟県、栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、長野県、東京都（八丈支庁・小笠原支庁を除く）、福井県、富山県、石川県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795～9.801	③④⑤
九州地方	東京都（八丈支庁・小笠原支庁に限る）、長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県（薩摩・大隅地方に限る）	9.794～9.797	⑥
南西諸島地方	鹿児島県（薩摩・大隅地方を除く）、沖縄県	9.789～9.794	⑦

UDS-1VN-WP（取引証明以外用）

UDS－1VN－WPを初めてご使用になる場合、使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量が出来ない場合がありますので、必ず下記の「使用地域別の重力加速度補正について」をよくお読みいただき、重力加速度補正を行ってから計量を始めてください。

ユーザパラメータについて

UDS－1VN－WPには、使用地区補正およびユーザによるスパン調整が可能です。
ユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定をしてご使用ください。

ユーザパラメータ表

番号	名　称	設 定 値：　　機　　能　　説　　明
＃09	地区補正／重力加速度	000：地区補正／重力補正しない 001～029：設定禁止 030～210：（重力加速度（m/s^2）－9.7600）×10000÷5 ＋オフセット分（30） 設定範囲：9.7600～9.8500m/s^2 最小設定単位；0.0005m/s^2

ユーザパラメータの説明

番号＃09：地区補正／重力加速度

UDS－1VN－WPには、使用地区補正機能が搭載されています。
番号＃09の地区補正／重力加速度で、ご使用に応じた設定値を選択してください。

使用地域別の重力加速度補正について

使用地域別に重力加速度を補正する場合は、以下の方法で補正をおこなってください。
使用地域別の重力加速度については使用地域別の設定値を参照してください。

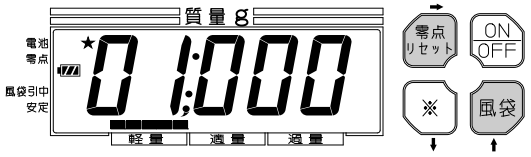
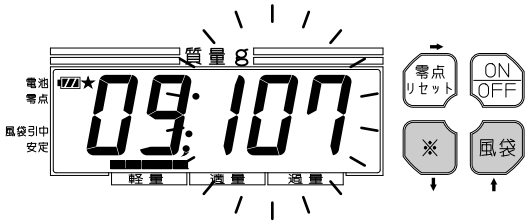
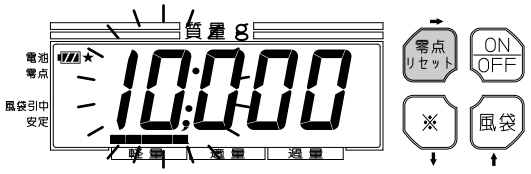
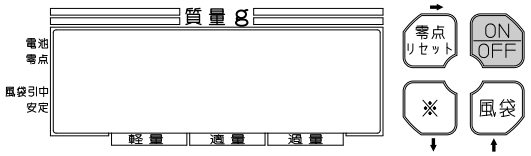
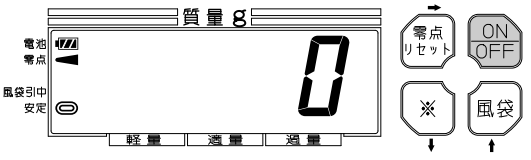
・次回使用するときからは使用地域別の重力加速度補正は必要ありませんので、電源を入れてそのままご使用ください。
・一度重力加速度補正を行ったはかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した重力加速度の補正が必要になります。

使用地域別の設定値

地域名	都道府県	重力加速度の範囲 (m/s^2)	設定値
道北・道北地方（十勝地方を除く）	道北地方（宗谷・上川・留萌） 道東地方（網走・根室・釧路）	9.804～9.807	121
道央・道南・十勝地方	道央（石狩・後志・空知） 道南（檜山・胆振・日高・渡島） 十勝地方	9.803～9.806	119
東北地方	青森県、岩手県	9.801～9.804	115
	宮城県、秋田県	9.800～9.803	113
	山形県、宮城県	9.799～9.802	111
	福島県	9.798～9.801	109
関東甲信越地方	新潟県、茨城県	9.798～9.801	109
	栃木県	9.797～9.800	107
	千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、東京都（八丈支庁・小笠原支庁を除く）	9.796～9.799	105
	長野県	9.795～9.798	103
	東京都（八丈支庁・小笠原支庁に限る）	9.794～9.796	100
北陸地方	福井県、富山県、石川県	9.797～9.800	107
東海・近畿・中国地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県（東海4県） 大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県（近畿2府4県） 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県（中国5県）	9.796～9.799	105
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795～9.797	102
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県（薩摩地方に限る）	9.794～9.797	101
	鹿児島県（薩摩地方を除く）	9.791～9.794	95
沖縄地方	沖縄県	9.789～9.792	91

上記の内容についてご不明な点がありましたらメーカーに問い合わせてください。
（参考：国土地理院のホームページ（http://www.gsi.go.jp）に、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。

＜補正例＞
・福井県・富山県・石川県（北陸地方）ではかりを使用する場合の補正方法について説明します。
（パラメータ番号「09」の設定値を105から107に変更することで補正します。）

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押して、パラメータ番号を09まで移動させます。 注意：０９を通り過ぎた場合は、そのまま 零点リセット を押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	
③	※ 又は 風袋 を押して、設定値108に変更してください。 ※ ※ :設定値を－1 風袋 :設定値を＋1 ※ を押しながら 風袋 :品種番号を－10 風袋 を押しながら ※ :品種番号を＋10	
④	零点リセット を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまで ON OFF を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFF を押してください。 ※電源がオンします。 使用地域設定値が変更されました。 設定終了です。	

校正方法について

UDS－1VN－WPは、取引証明以外用であるため、お客様自身による校正（使用前の校正）が可能です。

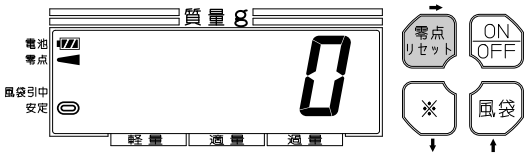
校正を行わなかった場合、正しい計量が出来ない場合がありますので、定期的な校正を行うことをおすすめします。

校正を行う場合「２級基準分銅」以上の精度の分銅をご用意のうえ下記の手順にしたがい校正してください。

※校正を行うために使用する分銅はひょう量分の分銅をご用意してください。

〈 校正例 〉

ひょう量6000gのはかりを使用する場合の校正方法について説明します。

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセット を押しながら 風袋 を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセット を押しながら ON OFF を押してください。 ※スパン調整画面に移ります。	
	中止するには 零点リセット を押します。 通常モードに戻ります。 ※スパン調整を進め、途中で中止する場合も同様に 零点リセット で通常モードに戻ります。	
③	載皿の上に何も載っていないことを確認したら、 風袋 を押します。	
④	載皿の中央に3000gの分銅を載せ、 風袋 を押します。	

	操　作　説　明	表　示　内　容
⑤	載皿に残りの分銅3000g（合計6000g）を載せ、風袋 を押します。 スパン調整が完了すると、質量表示に戻り、6000と表示します。 分銅で質量が合っているか確認してください。	

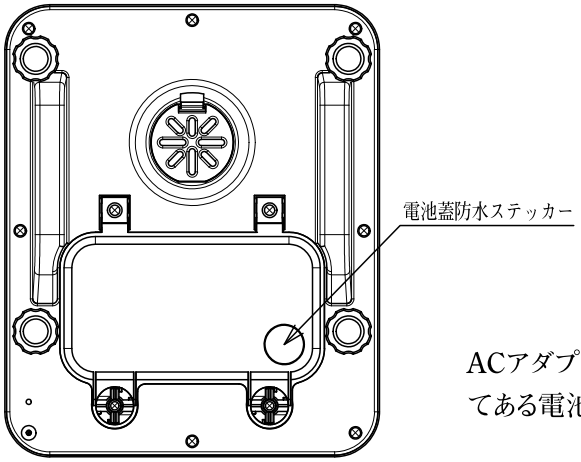
オプション

UDS−1VⅡ/1VN−WPには、次のオプションを準備しております。

オプションの種類

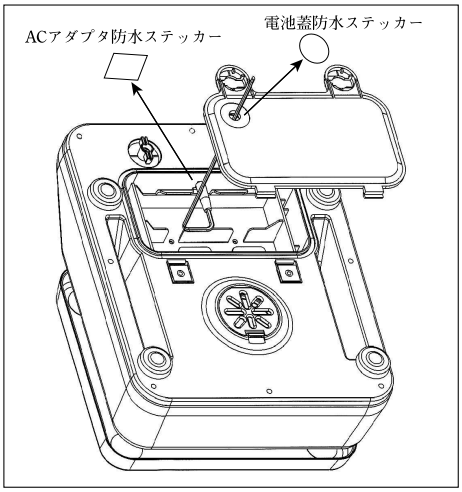
	オプション名	機　能　説　明
a.	ワイヤレス通信（工場オプション） 1．Bluetooth™（無線通信）ユニット 2．ZBee無線通信ユニット	大和専用ソフトを利用して無線を使った、はかりとパソコン間でのワイヤレス通信がおこなえます。
b.	無線（Bluetooth™）プリンタ （工場オプション）	Bluetooth™を使って無線化し、計量結果を印字するモバイルプリンタです。
c.	赤外線リモコン （工場オプション）	はかりのマルチファンクション機能の設定をし易くした専用リモコンです。
d.	専用ACアダプタ	AC電源から、はかりへの電力供給がおこなえます。 ※ACアダプタ接続時は非防水となります。
e.	取り出し方式マトリクス組合せ機能/ランク選別機能選択 （工場出荷ソフトオプション）	ランク選別機能、あるいは取り出し方式マトリクス組合せ機能に切り換えることができます。
f.	マルチファンクション判別精度切替機能 （工場出荷ソフトオプション）	マルチファンクション機能使用時に、質量判別精度を向上させ、より精度の高い計量がおこなえます。

ACアダプタ挿入部



ACアダプタを使用する場合、電池蓋に貼り付けてある電池蓋防水ステッカーを剥がしてください。

ACアダプタ（オプション）をセットする



1．ＡＣアダプタは、必ず専用のものを使用してください。異なったものを使用されますと、故障の原因になります。
2．乾電池との併用はできませんので、必ず全ての乾電池を取り外してからＡＣアダプタをご使用ください。
3．電池蓋を本体から外してください。
4．電池蓋防水ステッカー及びＡＣアダプタ防水ステッカーを剥がしてください。
5．ＡＣアダプタの先を電池蓋の穴に通してください。
6．ＡＣアダプタのプラグをしっかりとジャックに差し込みます。
7．電池蓋を閉めてください。

注意：ＡＣアダプタ使用時は、非防水になります。

ユーザパラメータについて

オプション機能のユーザパラメータ表は、下記の通りです。
ユーザパラメータ表をご覧になり、設定をしてご使用ください。
〈注意〉ユーザパラメータ#08は取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能（工場出荷ソフトオプション）付加時のみ表示されます。

ユーザパラメータ表

番号	名　称	設 定 値：　　機　　能　　説　　明
＃08	取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能選択（工場出荷オプション機能）	000：加算式ランク選別 001：載せ降ろし式マトリクス組合せ 002：取り出し式マトリクス組合せ
＃11	通信のタイミング	000：シリアル通信機能を使用しない 001：自動送信１（安定時送信） 002：自動送信２（安定後取り除き送信） 003：手動送信（ ※ キーで送信） 004：連続送信（通常モード、チェッカモード時のみ） 005：自動送信（安定になる毎に送信）
＃19	マルチファンクション機能使用時風袋データ付加選択	000：しない 001：する
＃20	設定目量切替（工場出荷ソフトオプション）	000：はかりの最小表示目量での設定 001：詳細目量での設定
＃21	マトリクス組合せ数（工場出荷ソフトオプション）	002：２個組合せ 003：３個組合せ 004：４個組合せ
＃23	送信時Send表示	000：機能停止 001～008：データ送信時、指定秒数Send表示
＃27	マルチファンクション設定値付加の選択	000：なし 001：あり
＃28	プリンタ印字紙送り量の設定	000：なし 001～015：指定行空送り
＃29	文字選択	000：日本語 001：アルファベット

※番号#10から#18までは、通信設定に関するパラメータですので、変更しないでください。
万が一変更してしまった場合は、P57のユーザパラメータの出荷時設定表をご参照ください。

ユーザパラメータの説明

番号＃08：取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能（工場出荷オプション機能）

UDS－1VⅡ/1VN－WPには、オプションで取り出し方式マトリクス組合せ機能とランク選別機能のいずれかに切り替えて使用することができます。

※取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能をご使用の際は、
番号#21：マトリクス組合せ数より、組合せ個数を予め設定する必要があります。

マトリクス組合せ機能とは

マトリクス組合せ機能とは、重量判別機能を用いた簡易組合せ機能のことです。この機能を用いることで、重量判別した複数の品物（重い品物と軽い品物）を組合せて、合計質量値の平均化を図ることができ、製品品質の均一化に役立ちます。

マトリクス組合せ機能

用　　途：野菜などの組合せ計量作業

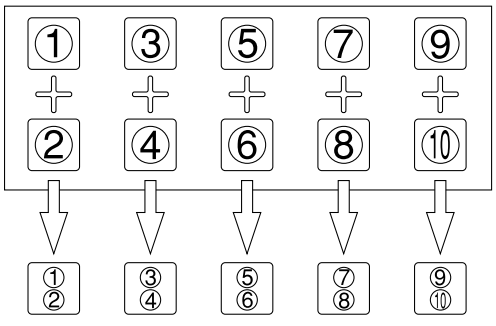
方　　式：重量判別した品物を直接箱に入れずに、組合わせたい個数によりマトリクス状に配置したマス目に分別します。それらを組合せて取ることで、平均質量に近い組合せを作ることができます。

設　　定：組合せ個数を2～4個に設定できます。
組合せ個数により、設定可能マス数が決まっています。

取り出し方式：段ボール箱等の一般容器に入った品物全体をはかりに載せ、その中から一定数量ずつ品物を取り出した時の減算重量から重量判別する方式です。
毎回品物を載せる必要がないため、作業時間が短縮されます。

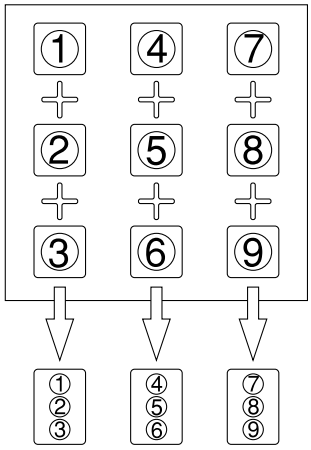
載せ降ろし方式：はかりに品物を一定量ずつ載せて重量判別する方式です。

・2個組合せ
設定可能マス数：4, 6, 8, 10, 12, 14
例）10マスで組合せをおこなう場合



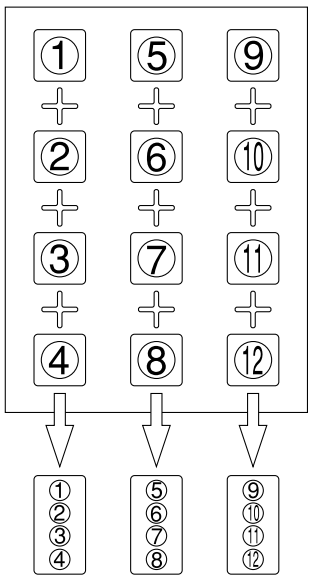
・3個組合せ
設定可能マス数：9, 15

例）9マスで組合せをおこなう場合



・4個組合せ
設定可能マス数：8, 12

例）12マスで組合せをおこなう場合



番号＃11：通信のタイミング

通信機能を使用したとき、データを送信するタイミングを指定します。

通常は001にすることで、安定を検出して自動で送信します。定量計量機能を使用する場合は002にすることで、計量する品物の重さを調整し、安定する都度内部でメモリしているので最後に取り除いたときに、最後に安定し、メモリしたデータを自動で送信します。

番号＃19：マルチファンクション時風袋データ付加

マルチファンクション使用時の計量データに風袋質量のデータを付加するかどうかを設定できます。

ユーザパラメータの出荷時設定について

UDS-1VⅡ/1VN-WPは、工場出荷時に、あらかじめ通信設定をおこなっております。万一お客様が変えてしまった場合や通信ができなくなった場合、「パラメータ出荷時設定表」を参考にして設定変更をおこなってください。

パラメータ出荷時設定表

番号	通信設定を行なわない場合	Bluetooth™またはZBee無線通信
#10	000	000
#11	000	001
#12	000	001
#13	000	001
#14	000	000
#15	000	000
#16	000	000
#17	000	000
#18	000	000

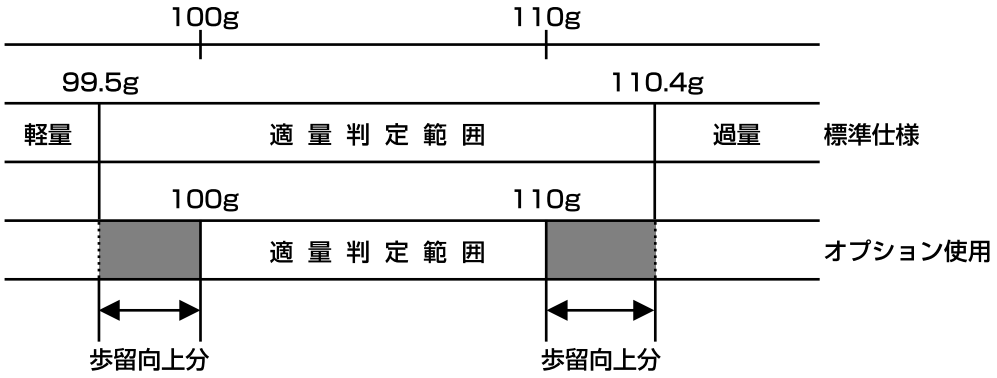
番号＃20：マルチファンクション判別精度の向上 （工場出荷ソフトオプション機能）

マルチファンクション判別精度向上機能（工場出荷時ソフトオプション）が有効な場合、マルチファンクション各機能の判別用設定値入力について、表示目量とは別に設定目量を設けています。
マルチファンクション判別精度向上機能を使用した場合、各マルチファンクション設定値の設定目量は下記のようになります。

ひょう量	設定目量
3000g	0.2g
6000g	0.5g
15kg	1g

※マルチファンクション判別精度向上機能使用時は、検定、無検定品問わず、左記の設定目量に切り替わります。

例えば、ひょう量3000g／1g（2g）のはかりで、下限値100g、上限値110gのチェッカ機能を使用し、標準仕様と比較した場合、標準仕様の判別（適量）範囲は99.5g～110.4g、マルチファンクション判別精度向上機能による判別（適量）範囲は100g～110gとなり歩留りが向上します。



〈注意〉マルチファンクション判別精度の向上ソフトオプション機能が有効な場合、ランク選別機能または、マトリクス組合せ機能時は、このパラメータを000に変更しても、設定目量は常時詳細目量となります。

番号＃21：マトリクス組合せ数（工場出荷ソフトオプション機能）

マトリクス組合せ機能使用時の組合せ個数を設定します。
詳細は、P55マトリクス組合せ機能をご参照ください。

番号＃23：データ送信時Send表示

データが送信されたことを示すため、送信後、画面に「Send」を表示させます。

番号＃27：マルチファンクション設定値付加の選択

印刷時に、＃14で設定した計量データと一緒にマルチファンクションの設定値を印刷することができます。

番号＃28：プリンタ印字紙送り量の設定

印刷した後の紙送り行数を設定します。

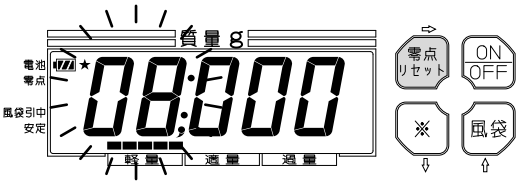
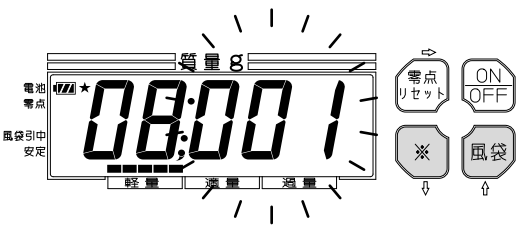
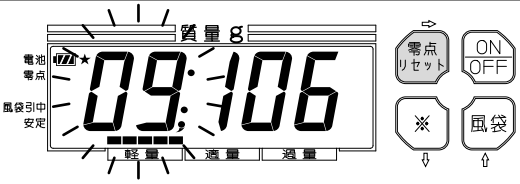
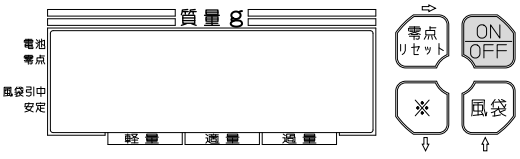
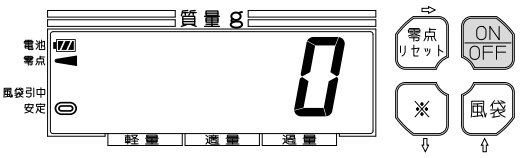
番号＃29：文字選択

印刷文字を日本語またはアルファベットに切り替えることができます。

ソフトオプションユーザパラメータの変更方法（工場出荷ソフトオプション機能）

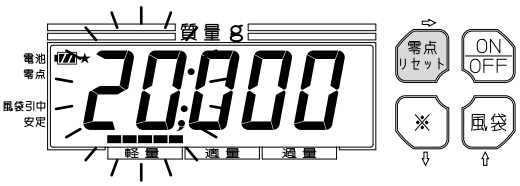
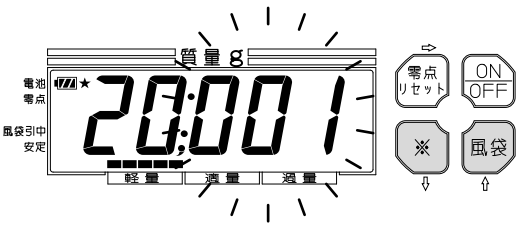
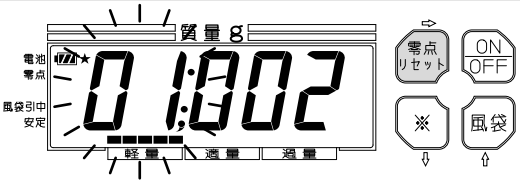
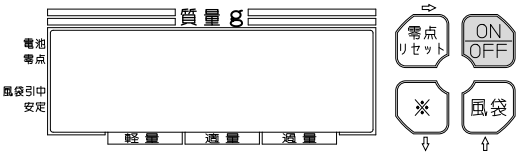
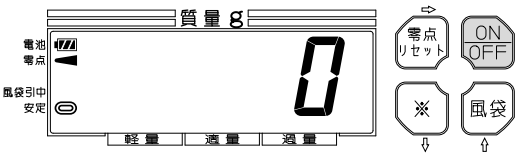
Ⅰ．取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能

例）取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能の設定値０００（加算式ランク選別）から、設定値００１（載せ降ろし式マトリクス組合せ）に変更する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセットを押しながら風袋を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセットを押して、パラメータ番号を08まで移動させます。 注意：08を通り過ぎた場合は、そのまま零点リセットを押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	
③	※又は風袋を押して、設定値００１に変更してください。 ※ ※ ：設定値を－1 風袋 ：設定値を＋1	
④	零点リセットを押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまでON OFFを押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFFを押してください。 ※電源がオンします。 取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能設定値が変更されました。 設定終了です。	

Ⅱ．マルチファンクション判別精度を変更する（工場出荷ソフトオプション機能）

例）設定目量切替の設定値０００（はかりの最小表示目量での設定）から、設定値００１（詳細目量での説明）に変更する場合

	操　作　説　明	表　示　内　容
①	零点リセットを押しながら風袋を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	零点リセットを押して、パラメータ番号を20まで移動させます。 注意：20を通り過ぎた場合は、そのまま零点リセットを押してパラメータ番号を進めてください。パラメータ番号が一巡します。	
③	※又は風袋を押して、設定値００１に変更してください。 ※ ※：設定値を−1 風袋：設定値を＋1	
④	零点リセットを押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	電源が切れるまでON OFFを押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	ON OFFを押してください。 ※電源がオンします。 マルチファンクション判別精度が変更されました。 設定終了です。	

仕様書

■製品の外観・仕様については、改良のため予告なしに変更することがあります。

1．品名（型式）　UDS－１ＶⅡ－ＷＰ／UDS－１ＶＮ－ＷＰ

2．計量方式　　電気抵抗線式

3．載皿寸法　　232×202（mm）

4．ひょう量系列

□**UDS-1VⅡ-WP（検定品）**

ひょう量	目　　量	最小測定量
3000g	1g（0～1500g）／2g（1500～3000g）	20 g
6000g	2g（0～3000g）／5g（3000～6000g）	40 g
15kg	0.005kg（0～7.5kg）／10g（7.5～15kg）	0.1kg

□**UDS-1VN-WP（無検定品）**

ひょう量	目　　量	最小測定量
3000g	0.5g（0～3000g）	10 g
6000g	1g（0～6000g）	20 g

※保証精度は1／1500多目量（日本国計量法新検則（平成12年）準拠）

5．表示

方　　式　　液晶表示管（LCD）　７セグメント表示方式

数字寸法　　幅13.5×高さ30.0（mm）

表示内容　　重量表示　　：最大5桁

零点サイン（ ◀ ）　　：零点時に点灯

風袋引中サイン（ ◀ ）　　：風袋引中時に点灯

安定サイン（ ◎ ）　　：はかりが安定しているときに点灯

電池残量サイン（ ▮ ）　　：乾電池使用時、電池の残量に応じて点灯

定量計量機能サイン（ PACK ）　　：品種データを登録しているときに点滅

：定量計量機能を使用しているときに点灯

チェッカ機能サイン（ CHECK ）　　：上下限値を設定しているときに点滅

：チェッカ機能を使用しているときに点灯

ランク選別機能サイン（ RANK ）　　：ランク値を設定しているときに点滅

：ランク選別機能を使用しているときに点灯

6．機能

風袋引き機能　　ワンタッチ風袋引

■最大風袋引量

□**UDS-1VⅡ-WP（検定品）**

ひょう量	最大風袋引量
3000g	1495 g
6000g	2990 g
15kg	7.475kg

□**UDS-1VN-WP（無検定品）**

ひょう量	最大風袋引量
3000g	3000g
6000g	6000g

定量計量機能　　99品種まで品種データの設定ができます

チェッカ機能　　99品種まで上下限値の設定ができます

ランク選別機能　　12品種、１品種あたり最大15ランクの設定、もしくは、
66品種、１品種あたり最大２ランクの設定ができます

電池残量チェッカ　　乾電池使用時、乾電池の残量に応じて電池マークによりレベル表示します

オートオフ機能　　乾電池使用時、安定マークが点灯した状態で設定時間を過ぎると自動的に電源がオフします

ブザー機能　　定量計量機能またはチェッカ機能使用時の作業において、設定された範囲で安定した場合ブザーを鳴らすことができます

判定時画面点滅機能

質量判定時、表示が安定すると画面を点滅させることができます

取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選択機能選択（工場出荷ソフトオプション機能）

取り出し方式マトリクス組合せ機能もしくはランク選別機能に変更できます

マルチファンクション判別精度向上機能（工場出荷ソフトオプション機能）

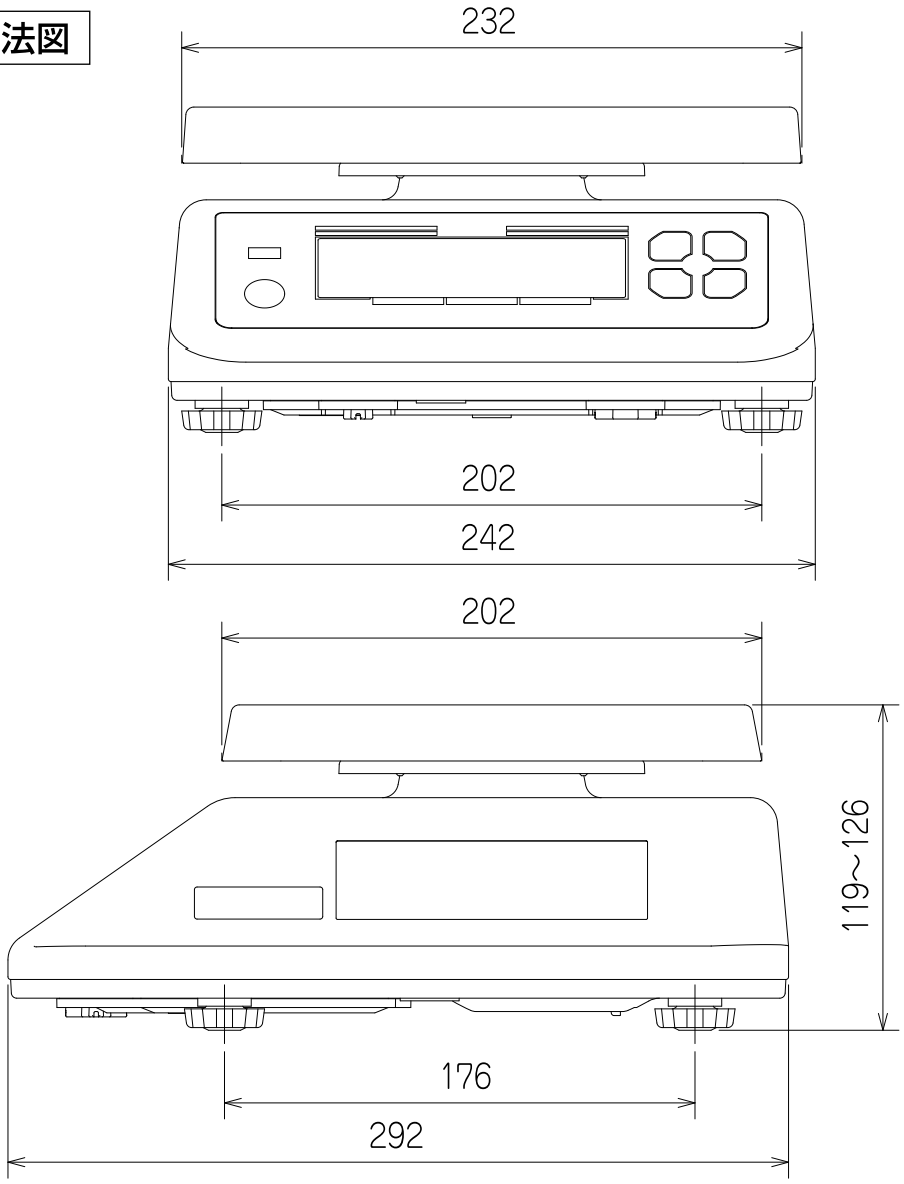
各マルチファンクション設定値の設定目量がはかりの目量より細かい目量で設定できます

ひょう量	設定目量
3000g	0.2 g
6000g	0.5 g
15kg	1 g

※マルチファンクション判別精度向上機能使用時は、検定品、無検定品問わず、左記の設定目量に切り替わります。

7．外装材質	カバー：ステンレス（SUS304）、載皿：ステンレス（SUS304）
	ベース：ABS樹脂
8．使用温度範囲	－10℃～＋40℃
9．使用湿度範囲	30%R.H～80%R.H（結露なきこと）
10．オプション	専用ACアダプタ
	Bluetooth™無線通信ユニット（工場出荷オプション）
	ZBee無線通信ユニット（工場出荷オプション）
	無線（Bluetooth™）プリンタ（工場出荷オプション）
	※Bluetooth™はBluetooth SIG.Incの登録商標です。
	赤外線リモコン（工場出荷オプション）
	取り出し方式マトリクス組合せ機能／ランク選別機能（工場出荷ソフトオプション）
	マルチファンクション判別精度切替機能（工場出荷ソフトオプション）
11．電源	DC６V（単一乾電池４本使用）
	または、AC100V（専用ACアダプタ使用時）
12．電池寿命	連続使用で約1400時間※（アルカリ電池使用時）
	※電池寿命は、乾電池のメーカー型式や保存状態により異なります。
13．消費電力	最大0.07W

外観寸法図



MEMO

個人情報の取り扱い

大和製衡株式会社は、以下のプライバシーポリシーに則り、細心の注意をもって個人情報の管理に取り組み、皆様の信頼にお応えする努力を続けてまいります。

大和製衡株式会社

■個人情報保護方針

1．当社の諸活動によって知りえた個人を特定する情報（以下、個人情報）につき、その収集目的の範囲内でのみ利用するものとします。

2．個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、および漏洩等を防止するための適切な措置を講じます。

3．個人情報につきましては、ご本人の同意なく、第三者への開示をすることはありません。ただし、法的拘束力のある命令等による場合はこの限りではありません。

4．当社が、個人情報の処理を外部へ委託する場合は、機密保持契約を締結し、適切な管理を実施させていただきます。

5．委託元よりお預かりした個人情報は、厳正なる管理の下で目的の範囲内で利用するものとします。

■当社サービスにおける個人情報の取り扱い

1．当社サービスを利用されるお客様の個人情報につきましては、そのサービス提供、およびより価値あるサービスの開発、提供のためにのみ利用されます。

2．ご本人の希望による個人情報の確認、訂正、抹消につきましては、下記窓口へのご連絡を通じて速やかに対応させていただきます。

お客様情報事務局　E-mail：webmaster@yamato-scale.co.jp

信頼・技術・創造
大和製衡株式会社

本社営業　〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号　TEL.078-918-6540
東日本支店　〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号　浜松町センタービル4階　TEL.03-5776-3123
中日本支店　〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号　朝日生命名古屋栄ビル5階　TEL.052-238-5731
千葉営業所　〒264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号　ショー・エム都賀1階　TEL.043-214-3920
九州営業所　〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号　博多エイトビル1階　TEL.092-471-1921

保証書について

ご購入後１年以内に万一弊社の責任による故障が発生した場合に、下記の条件により無償で部品取替または修理をさせていただきます。

はかりが故障した場合、ご購入の販売店に本証をご提示の上、修理をお申し付けください。

１．次の場合は、保証期間内であっても、実費による修理となります。

イ．本保証書のご提示がない場合。

ロ．本保証書にご購入年月日、製造番号、販売店名・印のご記入のない場合。

ハ．本保証書に、偽った内容が記入されていた場合。

ニ．誤った使い方、落下、衝撃等不注意の事故、保存上の不備による場合。

ホ．正常に動作していると認められるにもかかわらず、更に改善をご要求された場合。

ヘ．取扱販売店または弊社以外での修理・改造に起因する故障の場合。

ト．火災・地震・浸水等の災害など、不可抗力の原因によって生じた故障。

２．本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

３．保証の条件に当てはまらない場合の修理品の送料は、ご使用者においてご負担ください。

●本保証書は、記載されている期間・条件のもとに、無料修理をお約束するものです。
従って、本保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合せください。

保　証　書

型　　式	UDS－1VⅡ/1VN－WP
保証期間	**1年**

以下は、販売店にて販売時に記入してください

製造番号	
販　売　日	平成　　年　　月　　日
販　売　店	住所・店名・印 電話（　　）　　－　　印

以下は、お客様でご記入ください

お　客　様	氏名
	住所　〒 電話（　　）　　－

MAN.NO. CC-204A-07C-JA 13102000Ma